

360
435



始



360-433



意匠文
案滿載

必ず利くチラシの拵らへ方

清水正巳著

大正
5. 6. 28
内交

序

- 廣告を上手におやりなさい。賣上増進の途は茲にあります。
- 廣告の中でもチラシと店頭裝飾は小賣商店で一番必要な廣告だらうと思ひます。
- チラシを上手に拵らへなさい。店頭裝飾を上手におやりなさい。
- 店頭裝飾の事は既に書きました。店頭裝飾術と言ふ本です。佐藤出版部の發行です。
- 茲にチラシの書き方を書いて見ました。
- チラシなど云ふものは理窟のものではありません。實際の仕事です。

口理窟は少しばかりにして、實例を澤山入れて置きました。此方が屹度諸君に歓迎されると思ひます。

著者

目次

| | |
|----------------|---|
| 第一章 小賣商店唯一の廣告法 | 一 |
| 大に賣り大に儲ける原動力 | 一 |
| 小賣商店の廣告と其研究法 | 四 |
| 小賣商店で一番大事な廣告 | 七 |
| 第二章 チラシの種類と其體裁 | 二 |
| チラシの種類にいろいろあり | 二 |
| 最もよく行はれる一枚刷 | 三 |
| 折褶み式のチラシ | 六 |
| 状袋に入れて配るチラシ | 九 |

形式の異りたる種々のチラシ……………三三

新聞體のチラシの形式……………三四

第二章 チラシの文章の書き方……………三五

平易に書かねばならぬ……………二五

上品に書かなければならぬ……………二七

感情を害する事を書くな……………二六

挑發的に書かねばならぬ……………三〇

簡潔に書かねばならぬ……………三一

廣告文排列の形式……………三三

第四章 チラシの種類に依る文章の書き方……………三五

一枚刷の文章は如何に書くべきか……………三六

摺込み式のチラシの文章……………三九

宛名式のチラシの文章……………四二

封筒入のチラシの書き方……………四三

カード式のチラシの書き方……………四六

新聞體のチラシの拵らへ方……………四八

電報式チラシの書き方……………五一

第五章 チラシの意匠の拵らへ方……………五三

廣告の圖案と今日の圖案家……………五三

色の調和と色の性質……………五四

廣告カットの利用……………五九

拵らへる輪廓と活字の輪廓……………六一

矢と指との使ひ方……………六

第六章 チラシの形式に依る意匠……………七

一枚刷のチラシの意匠……………七

摺込式チラシの意匠……………七

封筒入チラシの意匠……………七

カード式チラシの意匠……………七

其他のチラシの意匠に就て……………七

第七章 チラシの配附法……………七

平凡な四つの方法……………七

新聞挿入のチラシ……………七

広告郵便に依る配り方……………八

カード式其他の配り方……………八

兎に角よく出来て居なければならぬ……………八

第八章 チラシに書くべき内容……………八

商品の廣告を主とするチラシ……………八

商店を廣告するチラシ……………九

商品と商店名とを廣告するチラシ……………九

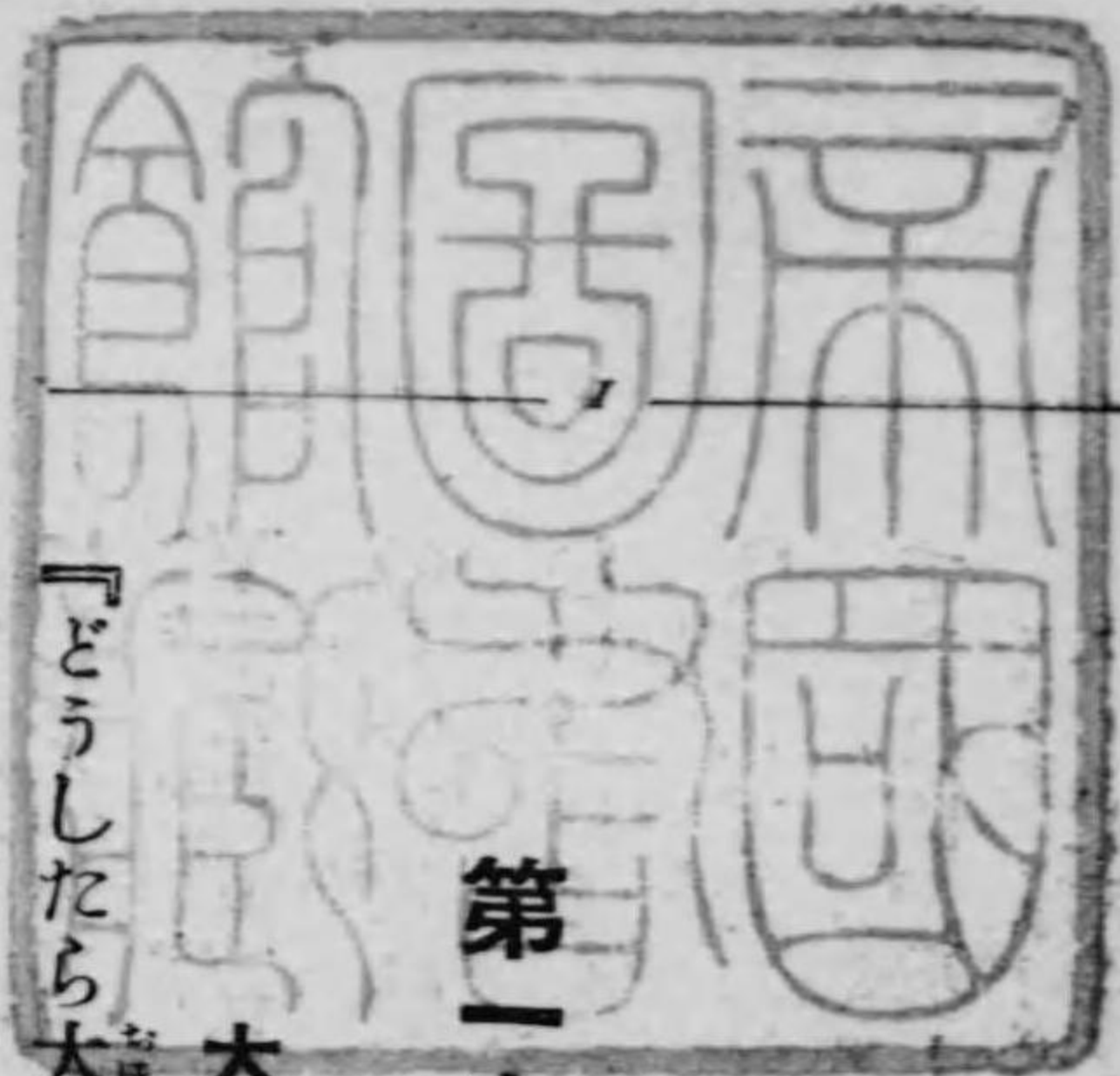
客引策と賣出しのチラシ……………九

チラシの書き方實例……………九

意匠文
案滿載 **必ず利くチラシの捲らへ方**

清水正巳著

第一章 小賣商店唯一の廣告法



大に賣り大に儲ける原動力

『どうしたら大に賣り、大に儲ける事が出来るだらうか?』と云ふ事は諸君の片時も忘れる事の出来ない問題であらう。そして此問題を考へる毎に『廣告の力』と云ふ事をスグ思はれるであらう。然り大に賣り大に儲ける原動力

は廣告である。

而し、其廣告なるものは、上手に作られたる廣告、上手に行はれたる廣告にして初めて大に賣り大に儲ける原動力となり得るのであつて、下手な廣告下手な遣り方ならば原動力所か、寧ろ營業費の損失となるものである。大抵のものは入れた金だけの成績は見えるものであるが、廣告のみはさうは行かない。いくら金を掛けても、其廣告が拙かつたならば金をかけただけの効果は決して得られないのである。亦左程金をかけないでも廣告の仕方さへ上手であれば、費した金よりも以上の効果を見る事が出来るのである。

上手に廣告を拵らへる事は今日の商人に最も大事な事である。クラブとか仁丹とかミツワとか三越とか云ふやうな、専門の廣告係を置いて常に巧妙な廣告をして居る店は益々榮えて行くが、廣告係も置かない商店はだん／＼と

衰微して行く。

諸君は清快丸とかゼムとか云ふやうな懷中藥がだん／＼衰微して、獨り仁丹のみが益々賣れて居るのは何故であるかを御存じであらう。亦今日の三越吳服店が東洋一を標榜して事實それだけの賣上げのあるのは何故であるかを御存じであらう。申す迄もなくそれ等は凡て廣告の力である。

廣告、廣告、廣告の世の中である。然るに未だに此點に氣が付かないのか或は氣が付いても經費を惜しむのか知らないが、相當な設備をした商店であつて廣告の専門家を備はないのは遺憾な事である。勿論今日では未だ廣告専門家として許すべき人が誠に少いからでもあるが、一つは商店に於て之を需要せないから専門家が出て來ないのである。

而し、中には『廣告の力』と共に『廣告の人』の必要を認めて來た向もあると

見えて、早稲田大學商業科に向つて、『廣告の仕事の出来る人が欲しい』と云つて来る所がポツ／＼あるさうである。だから私は早晚廣告専門家の澤山出来るべきを信じて居るのである。

小賣商店の廣告と其研究法

ある小賣商人はかう云ふ事を云つた。『成程、廣告は必要なものである、廣告の力は認める。而しそれは製造家などの用ふべきもので、一般の小賣商店などには左程必要なものではない』と。

而しこれは間違つた考へである。小賣商人と雖廣告を巧くすれば大に賣れ大に儲かる事は疑ひのない話である。製造家には製造家の廣告法があり、卸店には卸店の廣告法がある如く、小賣商店にも亦小賣商店の廣告法があるのである。

假令へば店頭裝飾——陳列窓の飾り方——の如きも一つの廣告である。有力なる直接廣告である。亦チラシの如きも有力な一つの廣告である。樂隊も廣告であれば、蓄音器も廣告である。廣告と云ふものは新聞や雑誌に出すのみが廣告と云ふワケではない、凡そ其商店の存在を知らしめるもの、其商品を知らしめるもの、其商店なり商品なりの特長を知らしめるもの、凡てこれ廣告である。

小賣商諸君よ、諸君も亦大に廣告をしなければならぬ。大に賣り大に儲けむと思はゞ大いに廣告をしなければならぬのである。然るに小賣商店の今日の状態を見るに、其廣告の仕方は御氣の毒ながら頗る下手である。店頭裝飾も下手であれば、チラシの書き方もあまり上手だと云はれない。

私は下手な廣告は其金をかける割合に利目がないと云つた。然り、下手な

店頭裝飾や下手なチラシの撒布では大した利目のありさうな道理がないのである。謂んや僅かしか広告料を投じない小賣店に於ては到底豫期するやうな効果を見られ得べき筈はないのである。僅かな金を下手な廣告に費つて仕舞ふ、それは恰も金を溝へ棄てるやうなものだ、寧ろしない方がよいと云ひた位だ。

私は小賣商諸君に注告する、もし廣告の力で大に賣り大に儲けやうと思つたら、まづ廣告の仕方を研究しなさい。小賣商店では到底専門の廣告係を置くやうな事は出来ない相談であるから、御主人自ら、或は熱心な店員に於て之を研究するより外に途はない。

然らば如何にして研究するか、今日の商業學校では何故か知らないが、商店で一番大事な廣告の事を一向教へない、だから商業學校の力で之を研究す

る事は不可能である。だからどうしても廣告専門家の著述に依つて研究しなければ仕方がないのである。

○然らば誰れの著述を読めばよいかと云ふに、今日廣告の専門家と見るべきは三越の濱田氏、クラブの桑谷氏、ミツワの藤田氏、商店雑誌の圓城寺氏、クラブの千早氏、實業界の井關氏、並に拙者位のものであるが、此人々の著述ならば諸君の實際の教科書として最も適當なものであると信ずる。

小賣商店で一番大事な廣告

○然るに小賣商店では新聞や雑誌の廣告は左程必要でない、亦あまり大袈裟な廣告も費用損である。私は小賣商店の廣告として最も適切であつて、事實商人諸君にも必要を感じて居るものはチラシと店頭裝飾であらうと思ふ。

チラシは最も簡單に出來て、配るにも最も輕便なものである。だからあら

ゆる商人、一として之を試みないものはない、どんな小店を開く人でも、チラシだけは配つて居る。然るに従来配られたチラシは實に貧弱なものである。あれでは配つても何の利目もなからうと思ふのが多い。

チラシはもつと活きて働くものでなくてはならぬ。見た人に印象を與へ、廣告の目的によく注意せしむるやうにしなければならぬ。今日のチラシは死んで居る、少しも働かない、極端に云ふと鼻紙を撒いて居るも同じである。これは何故であるか、云ふ迄もなく拵らへ方が下手だからである。人を引付けるやうな意匠や、人を引付けるやうな文句が出来ないからである。亦廣告の配り方にも研究をしてやらないからである。顧客の程度も考へないで廣告文を書いたり、誰が讀んでも少しも味氣のない文章を書いたり、一見拙いなと思ふやうな意匠をしたりして居るからである。亦廣告の仕方と云ふ事

に就て少しも研究が出来て居ない。

私は私の主筆をして居る商店雑誌の編輯部の仕事として商人諸君の廣告意匠や廣告文を拵らへて差上げて居るが、毎日五枚や六枚の原稿は書かねばならぬ程仕事がある。そして私の拵らへたものは兎にも角にも依頼者から謝辭を辱ふして居るが、これを見ても商人諸君が『どうしたらよい意匠よい文章が出来たらうか。』と云ふ事に苦心して居られる事はお察しする事が出来る。

私の如き、廣告文起草家に御頼みになる事も活きた廣告を作る一つの方法である。而し、人に依頼するばかりが能でない、自分でも一つやつて見やう活きた廣告を拵らへて見やうと云ふだけの熱心があつて欲しい。而し、それには前に云つたやうに研究機關がなくてはならぬ。

處が此廣告書類の著述も大分出來たが、未だ『チラシの書き方』などと云ふ實際的に必要なものゝ著述はないやうである。そこで不肖不敏ながら此小著を敢てした譯である。

店頭裝飾の方は大分進んで來た。各地方の商業會議所等の發起で『店頭裝飾競技會』などが開かれるものだから、大分刺戟されて各地方共に上手になつて來たやうだ、何でもモノは刺戟を受けねば出來ぬものと見える、亦此向の書物も一二あるやうである。私も『店頭裝飾術』と云ふ本を拵らへて居る。この本は小賣商店諸君にスグ間に合ふやうに實際的に書いてあるから、まだ見ない人は一度見て下さい。

小賣商店を如何にして繁昌せしむべきか、其主要なる方法は廣告である、そして其廣告の中で一番大事なものは店頭裝飾とチラシである。店頭裝飾の

本は既に拵らへたから、茲にチラシの書き方の本を拵らへる所以である。

一寸云つて置くが此本は徹頭徹尾實用向に拵らへた、理窟よりも實例を澤山に擧げてある、此法が却つて諸君の爲に早く要領がわかるだらうと思ふ、諸君は此本の實例に依つて、大に工夫し、大に研究して下さい。

第二章 チラシの種類と其體裁

チラシの種類にいろいろあり

チラシの最も普通の形式は一枚刷其儘を配る方法である。然るに此形式は『何だチラシか』と云つた調子で、軒別に撒いた處で中々拾つて讀んでくれな、其儘足に踏みにじられるか、精々鼻紙にされる位が落であると言ふので此形式を一步進めて、二つ折とか四つ折とかにして、一つの面を表紙とした

ものが現れた。これも矢張り一枚刷である、一枚刷を二つとか四つとかに褶んだ迄のものである。かくして置けば一枚刷其儘よりは大分効果がある。處が更に一枚刷其儘を配る形式から進んで、状袋に入れて配る方法が出来た。状袋に入れてあると『何だらう』と思つて讀む、あけて見て『廣告だナ』と思つても、一枚刷を讀むやうな考へでは讀まない、これもよい方法である。次には人形とか商品の形とかにくり抜いた石版刷でカードになつたチラシが現れた、これはチラシと云ふ事は出来ないが、兎に角チラシの目的を顯著ならしむべく出来た一つの變形である。これは子供等に喜ばれ、従つて効果も多い、次には吸取紙に印刷したチラシが出来た、これも學生や事務家を相手の商品には効果がある。其他にまだ新聞體チラシ等といふものもある。これ等はいづれもまづチラシと云ふべき性質のものであるが、其最も多く行はれる

ものは今に於ても矢張り一枚刷のチラシである。状袋にも何も入れないで、其儘どん／＼配つて歩くチラシである、此頃新聞に挿込む方法が盛んに利用されてゐるが、あれも却々有効である。兎に角最も平凡にして、而も尤も多く行はれて居るのは何うしても此一枚刷を擧げざるを得ない。

最もよく行はれる一枚刷

一枚刷の大きさは種々あつて決まつて居ない、或は縦に見るものもあり、横に見るものあり、大は新聞の頁半截位から少は四六判位迄、いろ／＼の形式が用ひられて居る。従つてどの形が一番よいかと云ふ事は一寸申されぬ問題で、何の位が一番よいと云ふワケにも參らぬが、私の考へではあまり大きいのは不可ないと思ふ。大きければどうしても文字が澤山這入る、それを全部讀ませるには相當時間がかかる、又其大きなものを讀ませるには餘程

文章も上手に書かなければならぬし、又意匠も上手にしないと、誰も見てくれない。而し、其文章や意匠をさう云ふ風な大きな形式のもので人を引付けるやうにする事は中々困難である。これが新聞等であれば、多くの廣告者が我も我もと廣告をして居るのであるから、特に一頁廣告とか半頁廣告とかの大廣告をなすも穴勝無意味ではないが、一枚刷の廣告そのみを見せるチラシであつて、徒らに大きな形式を採る事はつまらない話である、第一扱ひ難いではないか、だから大きな形式は私は採らない。亦あまり小さな形式も不可ない、あまり小さいものでは意匠を施す餘地がなくなり、自然文章ばかり入れなければならぬ事になる、文章のみのチラシは其文章が餘程上手でない限り、無味乾燥何等魅力ないものに終つて仕舞ふ。其文章も小さな處では思ふやうに書けない、それでは廣告の目的を達する事が出来ない。それ故こ

れも亦不可ない事になる。
 私の採りたいと思ふ形式は天地六七寸位、長さは文章次第で成行にすると云ふ横組の形式である。これは一番よい形式と断言は出来ないが少くとも一番見よい形式である。もし亦立に見せるならば四六二倍判位の大きさが最も適當だらうと思ふのである。此二つの形式は手に取つて見るに最も手頃な大きさである。これより大きなものも小さなものも私は不可ないと思ふ。
 次に面のみを印刷するか、裏面も共に印刷するかと云ふに、私はなるべく両面印刷をしたいと思ふ。横長のものではあれば、片面に印刷して一尺あるものならば五寸にして両面刷つた方がよからうと思ふ。縦長であれば無論両面刷でなければならぬ。而し、片面で云ひたい事が全部云へるやうな事柄であれば片面もよい、文章のあまり澤山ある事は人に読ませる努力を與へないから

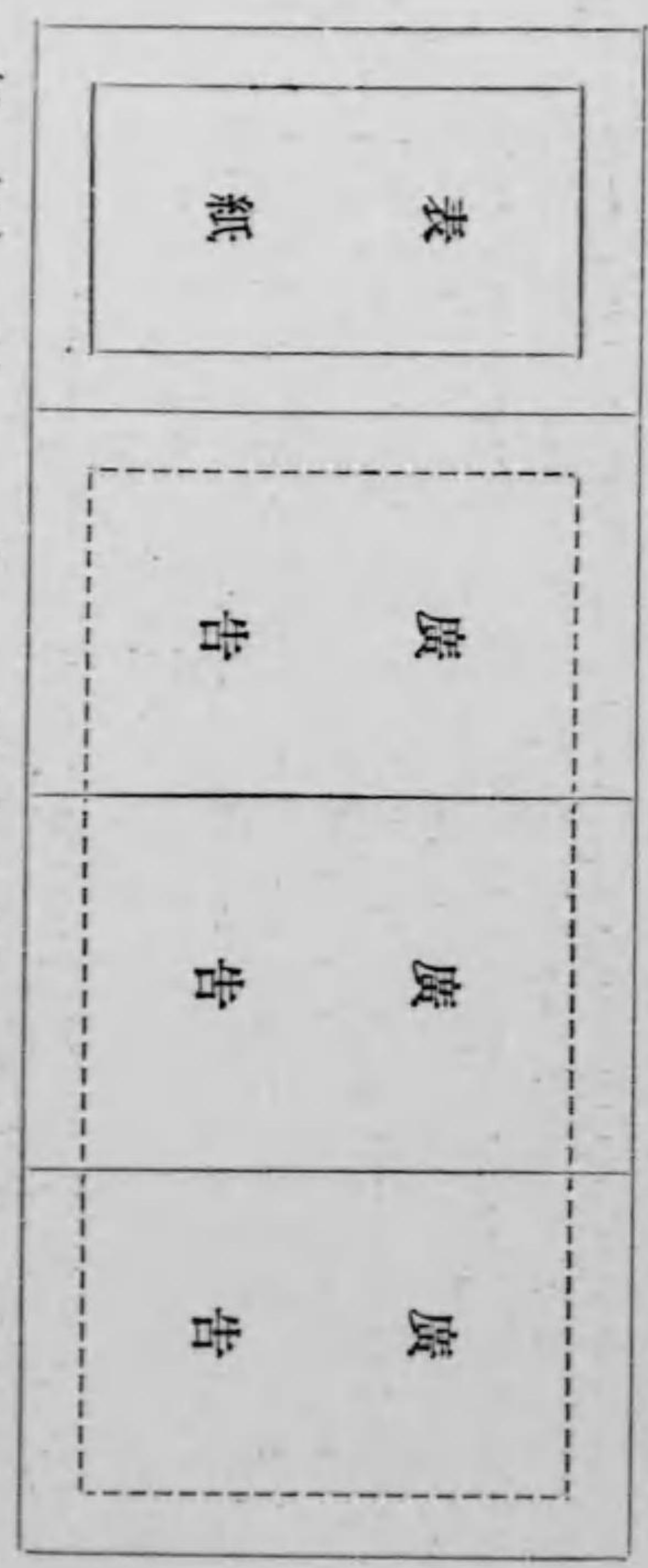
なるべく文章を少くして片面に收めた方がよい、私の云ふのはもし書いた事があまり長くなるやうなれば寧ろ片面より両面にした方がよいと云ふ話してある。

次に其紙であるか、一枚刷は大抵ザラ紙のやうである、ザラ紙は安いけれども實に感じの悪い紙だ、紙の感じの悪いのは何だか其商品迄感じを悪くする、殊に寫真版など這入つて居ると頗る不鮮明で少しも快感を與へない。私は外國の雑誌のオートペーパーに印刷した、寫真版等頗る鮮明に印刷された廣告を見る度に、日本の印刷物の貧弱を思はずに居られない。經費が少し餘計かゝつても紙は色の白い艶のあるものを選んで貰ひたい、ザラ紙だけは絶対に廢して貰ひたい。

折褶み式のチラシ

これは普通の一枚刷よりも餘程氣が利いて居る。これを行つて居る處は小賣店でもまづ熱心な方の店に限られて居るやうである。

此形式を採るならば私は四六判か菊半截判が一番手頃だらうと思ふ、菊判や四六二倍では大き過ぎて間が抜けて居ると思ふ、まづ此二つの形式である。



と云ふ風に表紙を拵らへ、他の三面並に裏面の四面を盡く廣告に使用して居

る、此表紙は何うしても石版刷か、寫寫版位にして置かないと面白くない。表紙の魅力に依つて中を開けさせるのである、若し表紙が面白くなければ中を開けてくれないから何もならない。

之を一步進めてカタログに使用して居る處がある、亦此形式をモ一つ大きくして、一枚のものを八つ折位にして表紙を出しカタログとして居るものもある、あれは私は不可ないと思ふ。此形式ならばまづよい、簡単な商品のカタログなればこれで十分である、而し、八つ折に至つては不可ないと思ふのである。

此形式に於ては紙はなるべくよいものを使はないと不可ない、石版や寫眞版の印刷の出来るやうな光澤のある、そして少し厚い紙を使用しなければならぬ。

状袋に入れて配るチラシ

これに二通りある、一つは店名を書いて送る方法、一は店名を書かないで送る方法、此二つである。

店名を書く方は「宛名式書状廣告」と云ふ名が付けられて居るが、チラシの内でも効果のあるものである、何しろ宛名が書いてあると、受取つた人はゼヒ一度は讀むから、其効果のあるのは解り切つた話である、而し宛名を書く事は中々骨の折れる仕事で、其宛名の選定と、一々書くのが面倒な爲に、大抵の商人は面倒がつて居るやうである、而し、それは不熱心な話で、有効と思つたらどこ迄もそれをやらなければならぬ、この宛名を調べる方法は或は電話帳に依つたり、或は軒別に目星しい家の名前を書き取つて廻つたり、或は紳士録に依つたり、或は市會議員の選舉名簿に依つたり、商

業會議所の名簿に依つたり、組合名簿に依つたり、亦興信所の名簿に依つたり、いろいろの方法を用ひて居るが、これは出来るだけ手を盡して各方面の御得意を調べるに越した事はない、而し小賣業者であれば、其勢力範圍だけを調べて送れば十分であるし、卸業者であれば全國の同業小賣業者を調べて送ればいゝのである、只通信販賣業者だけは各地方の購買力のある人々をあらゆる方法に依つて取調べなければならぬのであるが、其方法は拙著『通信販賣小資本成功法』に詳しく書いてあるから茲には省く。次は宛名を書かない書狀廣告である。

これは今日廣告郵便に依るのが最も多いやうである、封筒に入れて郵便脚夫に配らせる、それでは誰でも郵便として取扱ふから、誠に効果が多い、宛名式はどうしても範圍が狭くなるが、これならば範圍は極めて廣い。

而しながら、これは封筒に宛名を書かないのであるから、何か宛名の代りに他の文句を入れなければならぬ、何も書かないで無地の儘で配るなんかは實に氣の利かない骨頂である。それには『ゼヒ内容御一覽を乞ふ』とか、『此書狀は必ず貴下に利益を與ふべく候』とか、中を讀ましめるやうな文句を書いて置かなければならぬ。此事はいづれ後章に於て實例を擧げてお話する。

此形式を採るには中のチラシは先に述べた天地六寸の長さ成行のものが一番よい、これならば状紙の體裁であつて、封筒に入れるに最も都合がいゝのである、封筒は普通の封筒でよい、只あまり粗末な、鼠色の封筒なんかは使えないやうにして貰ひたい。それも感じが悪いと云ふ理由から申すのである。又西洋封筒は結構であるが高付く割合に其効果は同じであるからあまり感心しない、只折褶み式のチラシを封筒入りにするにはゼヒ西洋封筒を利

用しなければならぬ、亦招待券とか景品券とかを封入する招待状式のチラシであればこれ亦西洋封筒を利用した方が効果が多い。

形式の異りたる種々のチラシ

これは酒の廣告ならば酒樽の恰好をキリ抜いたものとか、電燈會社の廣告であれば電球の形體をキリ抜いたものとか、凡て其商品の恰好を切り抜いて美麗なる石版刷にしたものである。紙はなるべく厚く強靱なものをを用ふる必要がある。此廣告に於てよく見受けるのは石版刷にする爲に毛筆で書いた字體を其儘石版刷にしてある事であるが、あれは誠に不可ない。毛筆は讀みにくいものである、矢張り活字で組んで、それを石版に轉寫するやうにして貰ひたいものである。

此意匠のモ一つ變化したものに、即ち形體に變化を見せて興味を惹く目的のものに子供の玩具にしたものがある。即ち十六むさしをチラシにしたものとか、版古繪をチラシにしたものとか、双六をチラシにしたものとか云ふものである。これも家庭的の廣告としては悪くはない。これは其形體が大抵決つたものであるから云ふ迄もなからう。

これが一層進歩して大人に便利を興へるやうに、即ち實用的になるやうに拵らへたチラシがある。即ち曆を刷込んで置くとか、日曜表を入れて置くとか、汽車の時間表を入れて置くとか、日常の便利になるやうな事柄を書き入れたものである。

またよく使用されるのは吸取紙の廣告である。これは天地六寸幅三四寸位で大抵格好は決つて居る、此印刷は片面だけにして置きたい。かう云ふ風に『間に合ふ』と云ふ點から其廣告を保存させたり、使用させたりする方法は

誠に上手なやり方である。この等の事は拙著『小賣商店廣告法』の中に詳しくいから、茲にはあまり述べない事にする。

新聞體のチラシの形式

新聞體のチラシはよく用ひられる方法である。これは大抵新聞一頁の半分の大きさが用ひられて居るやうである。廣告として新聞全紙のものを使ふ事はあまりよい方法でない。尤も新聞の中に挿入して新聞其ものやうにして全紙のものを用ふる事もあるが、あれは却て不利益ではあるまいかと思ふ。と云ふのは新聞のやうにして置いて廣告だと云ふ事に氣が付くと不快な感を抱かせるものである。それよりも寧ろ初めから廣告は廣告として編輯し、其巧妙にして興味ある編輯振に依つて人を惹き付けるやうにするのがよいと思ふ。新聞廣告に於けるミツワの廣告の如き筆法あれが一番よからうと思ふ。

卸店等の機關新聞のやうなものは別として、普通チラシ代りに用ふるものならば二頁か四頁で十分である。それ以上は却つて損である。紙はザラ紙でも差支へないが、少しでも紙のよいもの程、快感を起させるから其邊もよく注意しなければならぬ。

第三章 チラシの文章の書き方

平易に書かねばならぬ

チラシの文章を書く時に第一注意せねばならぬ事は『平易に書く』と云ふ事である。チラシと云ふものは一般に配附するものであるから、文章も従つて一般でなければならぬ。いくら主人が文章が上手でも決してむづかしい文章を書いてはならぬ。むづかしい文章を書いて其れを讀み得るのは學者だけ

であるが、平易な文章ならば無學者も讀み得るし又學者も讀む事が出来る。一般に配るものである以上は何處迄も一般的であつて欲しい。

然るに今日廣告を見るに、どうも難かしい字が多いやうである。中には漢語などを使つて、中學生の作文でも讀むやうなのがある。これ等は廣告を起草するに當つて生半可な學者に依頼したりするからでもあらう。

驚くのは廣告文起草家を以て任じて居る人が、平氣で英語を入れたり、キザな純文藝的文章を書いて居る事である。『最もエフシエンシーを發揮する』だとか『アツプ、ツ、デートの品』だとか云ふやうな事は中學校の生徒位にはよく解るだらうか、一般の人、殊に婦人や子供には通じない。亦『新しい試み』だとか『藝術的な氣分』だとか生意氣な事を書いてあるのがあつた。これ等はいづれも廣告の書き方を知らない人で、到底廣告起草家などと

云ふ資格のない人である。さういふ人の存在は却つて廣告界の爲に憂ふべき事であらうと思ふ。又商人諸君もさう云ふ危険な起草家には頼まないやうにしなければならぬ。

平易と云ふ點から云へば口語體が一番よい。文語體も極やさしく書けば差支へないが、今日は本でも雑誌でも大抵は口語體を用ひてゐて、一般の人も口語體を便利として居るから、口語體にして置くが一番得策である。『なり』と云ふよりも『である』と云つた方が讀み易いやうに思はれる。

上品に書かねばならぬ

平易であると思つてもそれが俗に陥らないやうにしなければならぬ。俗になつて仕舞つては讀む人によい感じを與へない。『これをお求め下さい』と叮嚀に云はねばならぬ處を『これを買ひたまへ』と云ふやうな事を書いた

ら誰でもよい感じはしない。

然るに此俗なのが決して少くない、到る處に見る『勉強の親玉』だとか『大安賣の元祖』だとか云ふやうな文句も亦俗の俗なるもので今日の廣告文としては決して人に眞目な感じを興へるものでない。言葉は何うしても叮嚀にしなければならぬ。『お買上げ下さい』とか『御註文の程を願ひます』とか云ふ風に叮嚀に、客の感じを害さないやうに書かなければならぬ。『この品は實によき品なり』と云ふよりも『この品は本當によい品であります』と云ふやうにしなければならぬ。叮嚀、そして高尚と云ふ事は廣告文に最も注意すべき點である。

感情を害するやうな事を書くべからず

廣告文には亦感情を害するやうな事を書いてはならぬ。『これを買はぬ人は

馬鹿か氣違か』と云ふやうな事を書いたら誰でも怒るだらう。而し、そんなに極端でなくても、これに似た事を平氣で書いて居る人が澤山ある。慎しまねばならぬ事である。

これと少し違ふが、客に不快な感じを起させるやうな文章は不可ない。『あゝ厭だ厭だ』と云ふやうな冒頭語を書いてある廣告を見たが、本文を見ない中に、冒頭語に於て既に悪感を催して仕舞つた。新聞によくあざやほくろの廣告が出て居る、見ても不快である。又肺病の藥の廣告に『死に近づける人』と云ふやうな冒頭語を書いたのがある、言語道斷な事だ。決して人に不快な念を抱かせるやうな事を書いてはならない。

亦慘酷な事を書くのも宜しくない。例へば牛肉の廣告に、其屠殺の現狀を想像せしむるやうな事を書いたならば人は必ず不快な感を起す。誰でも生物

の肉は平気で喰つて居るが、其殺すと云ふ惨酷な事實に想到する時は不快な感を抱くものである。

挑發的に書かねばならぬ

之と反對に、廣告文を書く時には出来るだけ快感を催すやうに、實感を動かすやうに、挑發的に書かなければならぬのである。

假令へば食料品の廣告の如き、出来るだけうまさうに書いて、是非食ひたくなるやうな風に書かなければ不可なのである。『楽しい今日の晚餐にゼヒ此ハムを召し上つて下さい。其鹽加減の甘さおいしさ、到底口では申されません』と云ふやうな風に書けば『なる程うまさうだな』と云ふやうな感じを抱かせる。酒にして『灘の生一本、風涼しき夜の樽側に、浴衣掛の一酌』と云ふやうな書き方であれば、盛んに味感を刺戟する。然るに何處かの酒の廣

告に、冒頭語に『防腐剤なき△△△』と書いてあるのを見た。廣告を見るとすぐ防腐剤と云ふ事が頭に這入つて不快な感じが起り、少しも味感を挑發しない。吳服類にしてもさうである。『これが今の流行だ。これが是非欲しいものだ』と盛んに購買心を挑發させるやうに書かなければならぬ。只單に『お召一反十五圓』と書いて置くよりも『今、東京ではこれではなくてはならぬと云ふ風に流行して居るお召、一反十五圓』と書いた方がどれだけ力があるかわからぬ。

亦日用品であれば、『これを使つたら本當に便利だ』と云ふ事を切實に思はるるやうに書かなければならぬ。其使用法、其利益等を親切にわかり安く説明して、『成程かうして使ふのか』と云ふ事が、文章を読めばわかる位にして置かなければならぬ。然るに今日の日常品の廣告を見るに、其説明は大抵變

手古な文章體であつて、少しも要領を得て居ない。説明の如きは特に念を入れてわかり安く書かなければならぬものである。

簡潔に書かなければならぬ

而し、叮嚀に書く、親切に書くと云つても、あまり冗長になつては不可ない。廣告文と云ふものは決して誰にでもさう叮嚀に讀んで貰へるものではない、否今日の人は餘程上手な廣告文でない限り、決して叮嚀に見ないものであるから、其文章のあまりに冗長なのは決して感心すべき事ではない。これは親切にして冗長なのよりも寧ろ簡單にして要領を得たものの方がよいと思ふ。

簡單と云つても、さう木で鼻く、つたやうに、愛想もお世辭もなく、無味乾燥なものでは不可ない。これは廣告文起草家の伎倆であつて、簡單にして

要を得、而も親切と叮嚀の籠つて居るものを書くのが、所謂本當の廣告文起草家と云ふべきである。

叮嚀は決してくどいと云ふ事ではない。親切とは決して冗長を意味するものでもない。これをよく心得て文章を書かないと、叮嚀に親切に書かなければ廣告の力はないと思つて、矢鱈に馬鹿叮嚀に書かれては、却つて其廣告は死んで仕舞つて何の力もないものになる、よく注意すべきである。

廣告文排列の形式

廣告文の排列は普通これを(一)冒頭語(二)本文(三)附屬文字の順序にする事が出来る。

冒頭語と云ふのは廣告の最も初めに置かれる、大きな活字で組まれスグ眼に付くやうに書かれた簡單な文章がそれである。よく新聞で見ると「お

「花見に」と云ふやうな文句を初號活字で組んで其次に「ゼヒ△△白粉を」と云ふ風に書いたのがあるが、此「お花見に」と云ふやうな文句が即ち冒頭語である。

冒頭語は出来るだけ簡單でなければならぬ。心理學から云ふと人が物に注意する際どれだけの數を注意し得らるゝかと云ふに、それは四つ乃至六つだとされて居る。然らばチラシを見た瞬間にスグ注意されるのは、其チラシの中の四文字乃至六文字でなければならぬ。其四文字乃至六文字なるべきものが冒頭語である。だから冒頭語は何處迄も簡單でなければならぬのである。

次に冒頭語は亦非常に興味ある文字でなくてはならぬ、十分魅力ある文字でなくてはならぬ。兎に角、其チラシを見た瞬間、第一に印象に這入らうとする文字であるから、其文字の如何に依つて、好奇心を起して「一つ讀んで

見やう』と云ふ氣を起させる事も出来れば「何だつまらない」と云つて其儘棄てさせるやうにもなるのである。だから何うしても本文を讀まなくてはならなくなるやうに魅力ある文字を書いて置かないと其廣告は死んで仕舞ふ。

(二)は即ち本文である。本文の書き方は今述べたやうに(一)文章が平易であること、(二)上品であること、(三)丁寧であること、(四)簡潔であること等を條件として書かなければならぬのである。もし此一ヶ條でも缺けて居たならば其廣告は死んで仕舞ふ。

(三)の附屬文字とは商店の所在地、商店名、振替番號、電話番號等の事である。これは別に言ふ迄もあるまい。

第四章 チラシの種類に依る文章の書き方

「こんな不思議な事が……」とか「驚いては不可ません」とか云ふやうな事を書くのがそれである。

チラシは私の云つたやうにすれば天地六寸位のものであるから、其大ききから見ると冒頭語は初號で組まねばならぬ。本文は五號或は四號がよい、そして文章をノベツに書かず、四行か五行では區切りをつけて、そこへ面白きうな小見出しを附けて置くのである。小見出しは四號のゴチックか三號のゴチック位を使用するのが適當である。活字の明朝字體は平凡であるから、平文字とかゴチック字體とか云ふものを要所々々に使ふ事は、體裁を作る上に於ても、亦注意を惹き、讀む易からしむる上から云つても是非必要な事である。

尙文章には冒頭語にも本文にも凡て振假名を打つて置く必要がある。振假

名を打つて置く事は文字を知らない人の便利の爲にするのではなく、相當な知識階級の人に向つても「讀み易からしむる」と云ふ利益があるのである。振假名がないと何となく淋しく、讀難く見える。だから是非打つて置かなければならぬ。

文字の排列、字體等には實例の所に於てよく／＼研究あらむ事を望む。

褶込みのチラシの文章

褶込式にあつては表紙で人を惹き付けるのであるから表紙に人の注意を惹く文字を入れなければならぬ。中の方へは亦冒頭語を必要とするから茲に入る文字を惹句と稱へる。

惹句も冒頭語も其目的とする處は一つであつて、一は人の注意を惹き本文を讀むやうに導き、一は人の注意を惹いて内容を讀ませるやうにすればよい

のである。従つて其書き方も同じであるが、只注意すべきは本文の初めにありと言ふのと、表紙にあると云ふのと多少手加減を加へなければなるまいと思ふ。つまり表紙には表紙らしい惹句が欲しいと言ふのである。表紙にあまり長いものは不可ない。と云つて短かくても力がない。

・これがカタログであれば、何の品のカタログであると云ふだけの事を表示すればよいのであるが、チラシであるだけにそんな事では力がない、せひ人を惹付ける惹句を入れなければならぬのである。

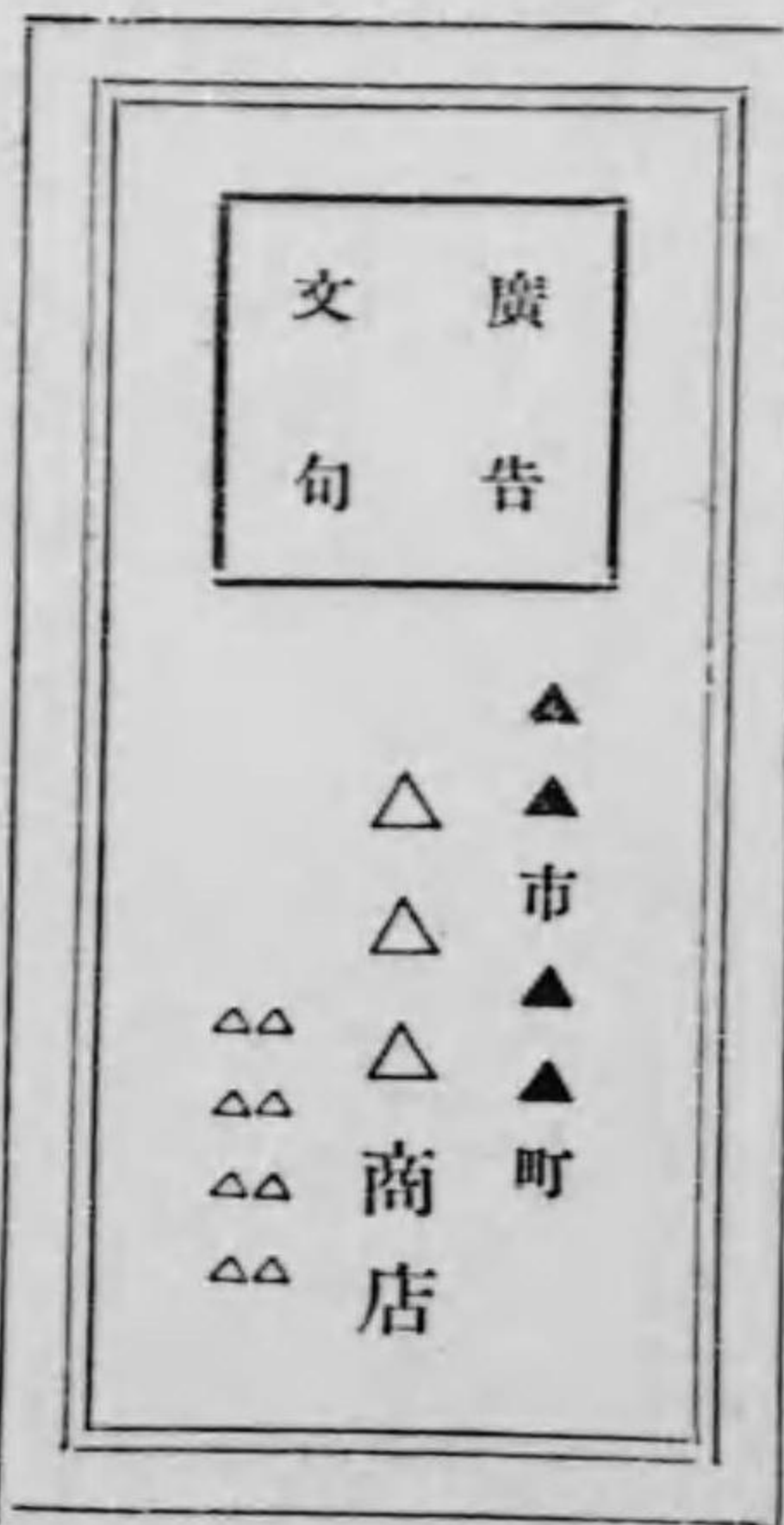


これは電氣蒲團の褶込式チラシの表紙であるが、「いつもほかく春心地」と云ふ惹句が非常によく利いてゐる。かう云ふ風に意匠と惹句の力を併せ用ひて人の注意を引くやうにしたいものである。

のである。

褶込式は只形式が褶込式であるだけで、内容は普通のチラシと變つた事はないのであるから、表紙だけ工夫すれば後は一枚刷と同じ形式、同じ内容でよいのである。

表紙の裏になる處は只店名、所在地等を入れ、簡単に廣告文を書いて置くがよいと思ふ。廣告文と云つても「電話おかけくださいませればスグお伺ひ



いたします」とか「弊店ではお買上品を配達します」とか云つた風な事がよからうと思ふのである。圖に示すやうな形式であればよからうと思ふ。

そしてもし出来れば表紙と此處だけは石版刷にすれば一層よからうと思ふのである。

宛名式チラシの文章

宛名式のチラシにあつては封筒を極高尚にして、受取つた人に快ろよい感じを起させるやうにしないでならぬ。汚ない、チヤムさい廣告を受取るのと、綺麗な氣の利いた廣告を受取るのとは其氣持ちが違ふ。これは一般のチラシに就てもさうであるが、特に宛名式の廣告に於てさうである。

封筒の表は只宛名を書けばそれでよい、其差出人を書くべき裏面であるが、此方もあまりゴタ／＼と廣告を書いては不可ない、宛名式は十中の十迄、開封して読んで貰へるものであるから封筒に迄廣告するに及ばない。却つて廣告しない方が高尚である。廣告して『廣告か』と思はれるよりも、さうは思

はせないで何氣なく開封されるやうにした方がよいではないか。

宛品式はチラシの中で一番有効だと云はれて居る。私もさうだらうと思ふ。他の一枚刷などが十中三四しか見られないに反し、宛名式は十中の十迄は兎に角見られるのであるから、手数はかゝつてもよいには違ひない。而し、宛名式は要するに『見させる』と云ふ目的を果す爲に用ひるゝ方法であつて、それ以上購買心を起させると云ふ點に至つては内容の力に依るのであるから、これは廣告を拵らへる人の腕にある。

内容の拵らへ方は一枚刷と變らないから別に言ふ必要はない。

封筒入のチラシの書き方

宛名式でなく、封筒に入れて、廣告郵便として出す封筒チラシには於ては其封筒には何も書かないと云ふワケに行かないから褶込式チラシの表紙のや

郵便券

貴下の貴重なる五分間を

此書状の爲に與へられよ

貴下が此書状の全文を読み終られて
末尾の記事に御注目された時……
貴下が此書状の爲に多大の利益を得
らるゝ第一歩であります……

これなどは
實によく
出来た一例
である。こ
れを見れば
誰でも其内

容が見たくなるであらう。

また此外に『所謂商品戦に就て謹んで御清鑑を仰ぐ——』とか『年に一回の

盛大なる公開日』とか『貴下の利益を目的とする此書状は貴下に』云つたや
うな巧妙な文句が盛んに使はれて居る。

此外に招待券を入れたり割引券を入れたりする場合には、『招待状在中』と
か『割引券在中』とか云ふやうな事を書いて置くがよからうと思ふ。

亦内容の一端を簡単に面白く書いて置くのもよい、
『あなたの御運次第で

百圓の品が五十圓で買へる〇月〇日より〇月〇日までの

〇〇呉服店の大賣出し會

と云ふが如き事が書いてあれば、自然其内容が見たくなるのである。西洋か
ら来た手紙のやうに歐文を入れ、西洋の模擬切手を印刷し、それに消印をし
て配附する方法は屢用ひられた方法であるが、これもあまり行はれない處

では効力があるが、東京あたりでは中々開けて見てくれない。

それよりも封筒の一部分を切貫いて、中の文句の面白い處が見えて居る方が面白味がある、同じ久保濱呉服店の話であるが、白い封筒の上の方を少しきり抜いて女の顔を覗かせ、その横に『奥さまへ、お嬢さまへ』と書き、下に『久保濱子より』としたのは實に面白い思つた。

此切抜く方法は先の褶込式に於てもよく用ひられ、カードに於てもよく用ひられる。婦人子供等の興味を惹く方法としては面白いと思ふ。

封筒式の内容も一枚刷と變る處がない。

カード體のチラシの書き方

大阪の和田榮ネル店に於て曾て面白いカードを配つた事があつた、それは桃の形をキリ抜いたカードであつて、二枚合せて開くやうになつて居る、即

ち圖に示す通りであるが、此桃には少しも文字が這入つて居ない、これを開くと左圖に見るやうに桃太郎が飛出すのである。『桃

から生れた桃太郎』である。そして其處に『お嬢ちやんに申上げます、今度の日曜にはゼヒ御母様と御一緒に和田榮へ買物にお出でなさい』と云ふ文句が入れてあるのである。

これ等は子供を利用する廣告として最も巧妙なものであらうと思ふ。

亦、大阪電球株式會社ではマツダ電球の形を上手にキリ抜いて、それに美麗な石版印刷を施し、これを配附したが、これも却々よく出來てゐた。



カード式はかう云ふ風に極めて巧妙に、よく子供などを利用して廣告力を發揮するやうに拵らへて貰ひたいものだと思ふ。

尙、カード式には文章をあまりクド／＼入れない方がよい、簡単にそして普通よりも尙平易に、そして奇抜に書かなければならぬ。冒頭語は短かく、本文も亦短かく要領よく書かなければならぬ。吸取紙の廣告、カレンダーの廣告、本の栞りにした廣告、裁縫の裙形にした廣告、等も文章の入れ方はかう云ふ風に、要領よく『體裁』と云ふ事を考へてやらねばならぬ。

又汽車の發着表を入れるとか、日曜表を入れるとか、其他參考になるやうな事を入れるには、なるべく要領だけにして、簡単にして實用と云ふ風に拵らへなければなるまいと思ふ。

新聞體のチラシ拵らへ方

新聞體の廣告にあつては出来るだけ面白く編輯しないと一向讀んでくれないやうなものが出來上る。寧ろ面白い記事、爲になる記事を澤山に入れて廣告を少くしたい位のものである。さうでないとか却つて廣告の力が弱くなつてくるのである。

記事は新聞や雑誌のキリ抜きでも差支へない、唯面白ければよいのである。廣告は普通の新聞廣告のやうにして入れるもよく、中には記事體に入れる事もよからう。

茲に其體裁だけを示すならば

| | | |
|---|---|--------------------------|
| | | 小説とか講談 とか云ふ興味 ある記事 |
| | 挿 | 同 |
| | 繪 | 同 |
| | | 断片的の記事 一口啗等 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>廣 告</p> </div> | | |

| | | |
|---|---|--|
| | | 吳服店ならば 「其季節の流 行」とか、雜 貨店であれば 矢張り「一九 一六型の帽子 と新流行のネ クタイ」とか 云ふ記事 |
| | | 同 |
| | 挿 | 同 |
| | 繪 | 同 |
| | | 断片的の記事 なるべく興味 あるもの |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>廣 告</p> </div> | | |

△△新聞

かう云ふ風な配置で拵らへればまづよからうと思ふのである。即ち廣告半分、面白い或は有益な記事半分、と云ふ方針にして、挿繪やカットで賑やかにして行くと云ふ事を工夫すればよからうと思ふ。

電報式チラシの書き方

これもよく用ひられた平凡な方法である。東京あたりでは一向感心せないが地方ではまだ相當に利くかも知れぬ。形式は電報と同じ大きさ、同じ體裁であればよいのである。文章も亦電報のやうに惹句を宛名のやうに書き入れ、本文を假名で簡單に書く。『オトクイサマニキウホウ』と云ふやうな事を書いて、本文には四ガツ一ニチヨリ一五ニチマデオオウリダシゼヒゴライテンヲコフ』と云ふやうな事を書くのである。

此頃電話を電報のやうにして、郵便局で記入して取次でくれるやうになつ

たから、あれを利用して少し文句を長く書いて見たらどうだらうかと思ふ。チラシの形式はまだいろいろあるが、大抵これ等のものが基礎となつて變化したものが多いやうであるから、まづ此位にして置かう。

第五章 チラシの意匠の拵らへ方

廣告の圖案と今日の圖案家

チラシの意匠は人の注意を集めればそれでよいので、もし其意匠が只綺麗であると云ふだけで人の注意を惹かなかつたら意匠としての價値はない。どうしても人の注意を惹くと云ふ要素が備はつて居なければ廣告用意匠と云ふワケには行かないのである。

然るに今日の廣告圖案なるものは、なる程器用には出來て居るが一向人の

注意を惹かないものが多い、所謂圖案であつて魅力がないのである、陶器か衣類の圖案と同じやうなもので、特に廣告を働かせると云ふ「力」のある圖案ではないのである。

廣告圖案はそこいらの平々凡々な圖案家には出来るものでない。廣告は一種の才能である。此才能のある圖案家が本當の廣告圖案家で、繪かきでさへあれば廣告圖案位出来るやうに思つて居ては大間違ひである。廣告の圖案家は普通の圖案家よりもモ一步進んだ人でなければならぬ。日本には未だ本當の廣告圖案家が頗る少ない。遺憾な事である。

色の調和と色の性質

茲に調和する色と色とを掲げて見やう、これは凡ての意匠に參考する處が多からうから。

- 藍色と白色
- 藍色と黄金色
- 藍色とオレンジ色
- 藍色と鮮肉色
- 藍色と玉蜀黍色
- 藍色と褐色
- 藍色と黒色
- 藍色、深紅色及び薄紫色
- 藍色、オレンジ色及び黒色
- 藍色、褐色、濃紅色、黄金色
- 藍色、オレンジ色、黒色、白色

赤色と黄金色
 赤色と黄金色と黒色
 濃紅色と紫色
 濃紅色と黒色と白色
 濃紅色とオレンジ色
 黄色と紫色
 黄色と黄金色
 緑色と黄金色
 緑色と濃紅色と黄金色
 緑色とオレンジ色と赤色
 紫色と黄金色
 紫色と濃紅色と黄金色

薄紫色と黄金色
 薄紫色と濃紅色と黒色又は白色
 薄紫色と黄金色と濃紅色と白色
 薄紫色と黒色
 淡紅色と黒色
 黒色と濃紅色

以上の如くであるが、向色には寒色と暖色とある。一體に藍、コバルト、等の系統の色は寒色であつて、赤、黄、系統の色は暖色である。冬はなるべく暖色を使ふやうに、夏はなるべく寒色を使ふやうに注意しないと、冬の寒い時分に海の色などを見せられては益々寒い感じを與へるばかりで不可ないと思ふ。

寒色 暖色から、亦其他の理由から、色彩に依つて人の感じも違つてくる。これも必要な事だから一寸申上げて置く。

赤 愉快な感じが起る。挑発的である。

藍 淋しい感じが起る。陰気な色である。

コバルト色 ノンビリとした感じがする。氣持のよい色である。

黄 陽気な色である。興奮させる。

紫 どちらかと云ふと稍陰気な感じがする。而し薄紫になる

と穏やかな感じがする。

黄色に近く、稍興奮的な色である。

これも穏やかな色である、而し薄くなると矢張り黄色の感じを與へる。

樺 色

緑 色

黒 色 嚴肅な感じが起る、眞面目な色である。

廣告カットの利用

チラシの意匠を作るにはカットを利用するが一番である。石版ならばいろいろの圖案を拵らへ、其中に文章を入れる事が出来るが、活版であるとチラシ全體に互つた意匠を、木版やジントで拵らへる事は、事實なかゝ出来な事であるから、人の注意を惹くべき要點へカットを使用するのが一番よからうと思ふ。

カットと云ふのは別項實例の處に擧げてあるいろゝの繪がそれであつてこれを區別して(一)只人を惹付ける爲のカットと(二)其商品を示すカットとの二つに區別する事が出来る。



茲こゝに示しした二つのカットの中、上は(一)の目的のカットであつて、只人の注意を惹ひくだけである。(二)はある商品に限られたカットである。

カットには亦製版の上から、(一)繪畫のカット(二)寫眞のカットとの二つに區別する事が出来る。茲こゝに示ししたのは共に繪畫のカットであつて、之を拵こらへるのは木版或は凸版である。そして諸君のよく御承知の寫眞網目版のカ

ット、あれを寫眞のカットと云ふのである。

私は人の注意を惹ひく爲ためのカットは繪畫のカットがよろしく、商品を示すカットとは寫眞版の方がよいと思ふ。そして寫眞版ならば修整寫眞版と云つて、特に寫眞の原稿を修正し、よく其商品の特長を見せる事の出来るものになければならぬ。

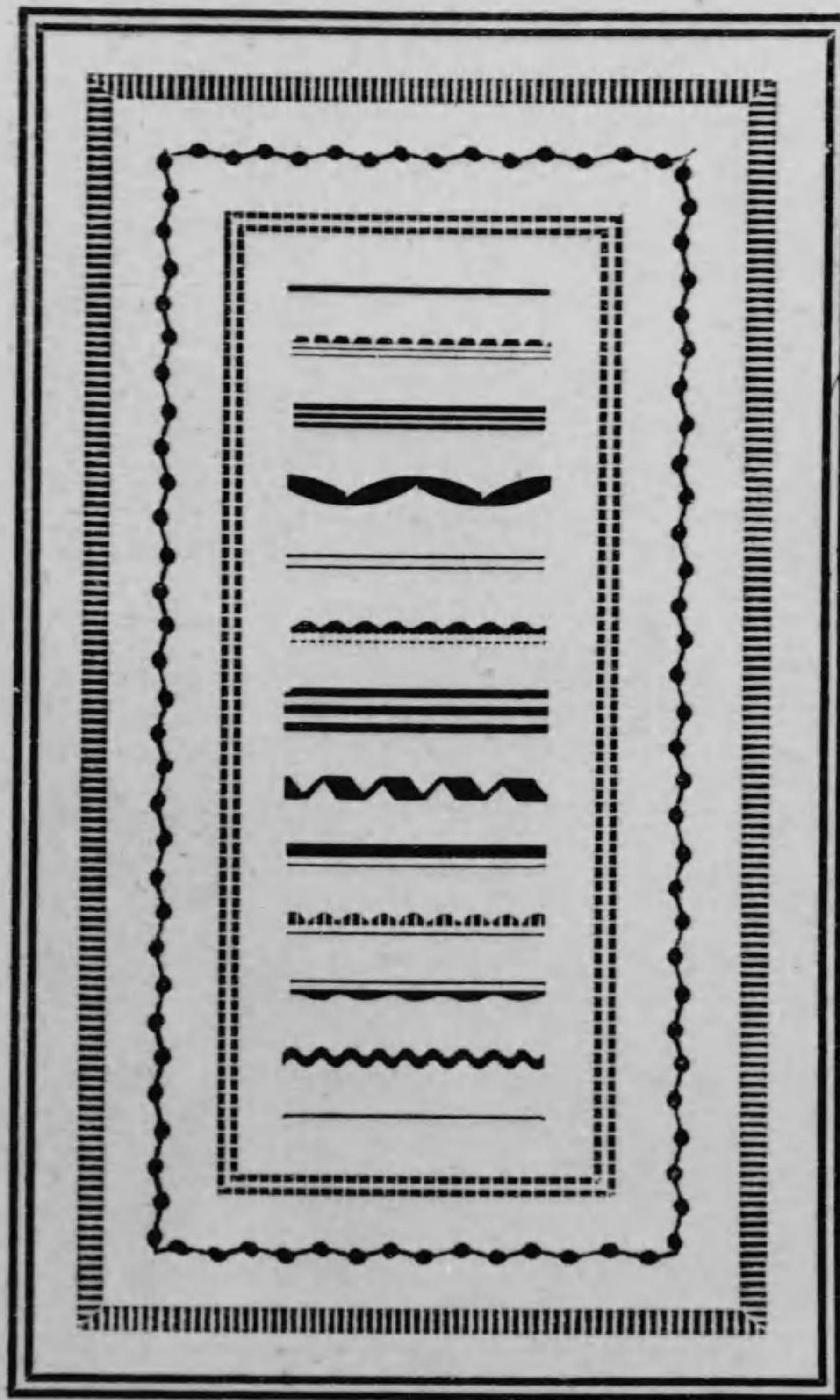
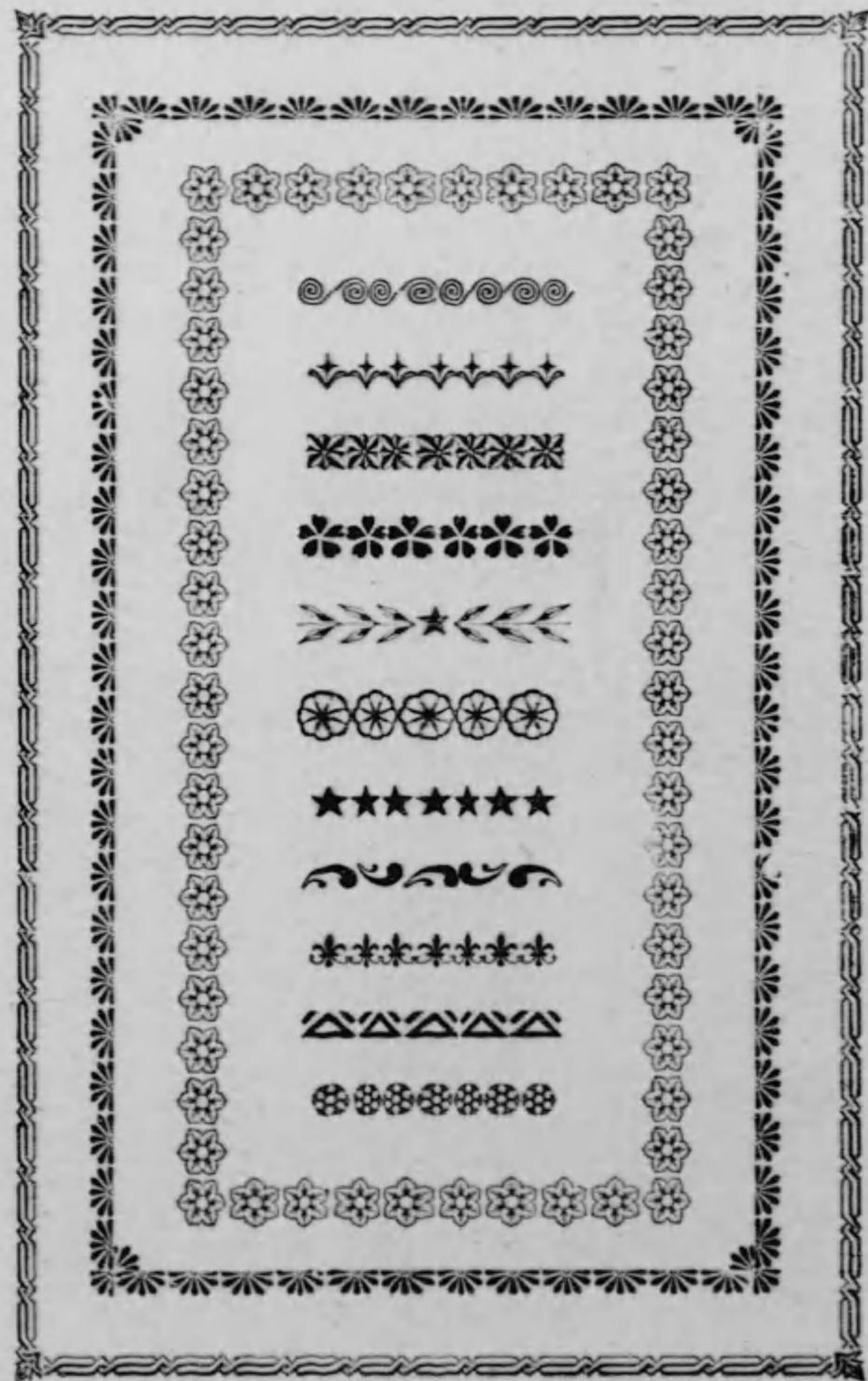
チラシの意匠は此二種のカットの使用に依つて之を活かすのが最も上手なやり方である。私の拵こらへた別項の實例は殆んど凡てが其方針から出來て居るのである。全體の意匠を作り廣告文を其中へ刷込む事は中々金がかかる、金のかゝる割合に効果のあるものでない、だから此カット利用の意匠をお勧めしたのである。然し、カットのみでは落付かない事がある、チラシ全體が締しまらない事がある、そこで輪廓を使用するのである。

拵らへる輪廓と活字の輪廓

輪廓の使ひ方は一寸むづかしいものであつて、輪廓に依つて、其廣告が引立ちもし、一向引立たなくもなる。亦嚴肅なる場面を拵らへる事もあれば貧弱な場面を作る事もある。而し大體に於て、太い、黒つぽい輪廓は嚴肅な、眞面目な感じを與へる、だから眞面目な本の廣告の如きものには適當して居る。之に反して細の線の輪廓は柔かい感じを起させる、婦人相手の廣告などは此方がよいのである。

亦、色から見た輪廓の感じは前項の色の感じを頭に置いて判斷すればよいのであるから、茲には述べないが、大體に於て赤い輪廓は華やかな感じを起させ、黒い輪廓は眞面目な感じを起させ、黄色い輪廓は陽氣であるし、藍色の輪廓は淋しい感じを起させる。

輪廓はこれを活字で組む輪廓、拵らへる輪廓の二つに區別する。活字で組む輪廓は次に示すが如く、いろ／＼のものが出來て居る。これを巧妙に使用すれば氣の利いたものが出來るのであるが、地方の印刷所などでは此使ひ方が拙い爲に、田舎臭い野暮なものを拵らへる事が多い。



これ等の輪廓を適宜に使用して、婦人向のものは柔かいものを使用するか、紳士向のものは太いものを使用するとか云ふ風にすればよいのである。

矢と指の使ひ方

廣告の意匠を助け、文章を讀ませる力のあるものに「矢」と「指」がある。二つともこれ迄よく用ひられた方法である。

矢は細いものよりも太い變つたものの方がよい、其方がよく人の目を惹く事が出来る。そして其矢の先が必ず最も注意を要する文章の上、或は商品の上に注がれて居なければ何もならないのである。別項の實例の處に澤山出て居るからよく研究して下さい。

手も亦さうであつて、なるべく大きくした方がよい、實物を寫眞に撮つたものと書いたものとあるが、人目を惹くものであればよい。これも實例の處

にあるから見ていたゞきたい。

之を要するに、チラシの意匠なるものは(一)適當なる色彩の配合、(二)巧妙なる廣告カットの使ひ方(三)其廣告の目的に應じたる輪廓の使用、(四)矢と指の補助に依つて生きて來るものである。然し、時として風景の寫眞を一面に印刷して、一部分をキリ抜き其處へ簡單に廣告文を入れたり、或は全體に意匠を施して、文章を組込んだりする事もあるが、これは僅少の場合である、これも實例に依つて見て頂きたい。只注意すべきは無意味なる圖案、其廣告と縁のない意匠等を用ひないやうにせなければならぬ事である。

第六章 チラシの形式に依る意匠

一枚刷のチラシの意匠

一枚刷の意匠は藍と赤との二度か、黒と赤との二度か、或は黒と茶の二度か、兎に角二度刷が一番よからうと思ふ。その場合にはなるべく文字を藍とか黒とか云ふ色で刷り、意匠を赤とか茶とかで刷つた方がよい。それは意匠は只人の注意を惹くだけであつて、念を入れて見るものでないから、赤の如きバツとした色がよいのであるが、文章は念を入れて見させるものであるから、ゼヒ黒とか藍とか、目をイラ／＼させない落付いた色にせなければならぬのであるから。尤も黒一度刷、藍一度刷でも悪くはない、モノに依つては却つてよくなる事がある。これは其品に依る事であり、其經費にも拘はる事であるからあまり論ずる必要はない。只、使つてならない色は黄色、薄き茶色、薄青色、等で一體に薄い色は損である。一枚刷の如きはなるべく派手なバツとした色を喜ぶものであるから、赤とか青とかの原色を使用するのがよいのである。

である。

一枚刷のチラシは輪廓を用ひてもよし用ひなくてもよい、もし引締らないと思つたら輪廓を用ふる事にし、輪廓がなくても落付があるやうだつたら別に入れなくてもよい。

カットは是非入れる必要がある。カットはなるべく初めの方に入れる方がよく人の眼を惹く、そして指とか矢の如きものも亦初めの方に入れる方がよく其目的を達する。惹句とカットとの二つの力で、本文を読ませるやうに工夫すればよいのである。

商品のカットはなるべく本文の中に入れるがよい。商品のカットを冒頭に入れる事も品に依り、即ち人目を惹くやうなものであれば悪くはないが、さうでないものならば不可ない。

一枚刷のチラシは輪廓を用ひてもよし用ひなくてもよい、もし引締らないと思つたら輪廓を用ふる事にし、輪廓がなくても落付があるやうだつたら別に入れなくてもよい。

カットは是非入れる必要がある。カットはなるべく初めの方に入れる方がよく人の眼を惹く、そして指とか矢の如きものも亦初めの方に入れる方がよく其目的を達する。惹句とカットとの二つの力で、本文を読ませるやうに工夫すればよいのである。

商品のカットはなるべく本文の中に入れるがよい。商品のカットを冒頭に入れる事も品に依り、即ち人目を惹くやうなものであれば悪くはないが、さうでないものならば不可ない。

亦、文章の要所々々、(小見出しとか、定價とか云ふもの)を色で刷る事は必要である。而しあまりあちこちを色にして仕舞ふと、却つてゴタ／＼して不可なくなる。

之を要するに一枚刷の意匠は、一度刷或は二度刷であつて、輪廓とか、カットとか、特に目立たせる文章とかを色で刷り、本文を黒で刷ると云ふのが一番よいと思ふのである。

摺込式チラシの意匠

摺込式の表紙は是非石版か寫真にしないと面白くない、そしてなるべくバツとした人目を惹くものがよい、あまり圖案式な繪は感心しない。活版ならばカットでも使つて餘程甘くやらないと面白いものが出来ない、木版を使つたのもあまり感心しない。寫真網目版とかコロタイプなどは遣り方に依て面

白いものが出来るだらう。此頃荐りに用ひられるのはオフセット版である。

これは荒い紙にも鮮明に印刷が出来、且つ其印刷工合が何とも云へぬ優美であるから、カタログとかかう云ふもの、表紙には理想的である、而し随分金が掛るからチラシにはチトどうだらうか。

内容は一枚刷と同じやうでよい、本文の中にカット——商品の説明用——を入れ、注意すべき所、或は輪廓は色刷にするがよい。而し此場合に於ては單に注意を惹く目的のカットは左程必要ではない。

説明用カットは曩にも述べた通り修整寫真版を最も可とするが、而し用ひ方を説明する時などは凸版のカットを使ふ方がよく目的を達する事が出来る場合もある。

封筒入りのチラシの意匠

封筒は寧ろ普通の形式がよいと思ふ。あまり封筒に意匠をして仕舞ふと下品になる。よく封筒の表面に市町村殿等を印刷したのを見るが、あんなものは必要ではない、何もない方がよい。裏面、即ち差出人の名を書く處はチャンと活版で印刷して置かねばならぬ。これを筆で書く人もなからうが、筆などで書いては其店の價値を墜す。何でもない事のやうだがゴムスタンプを捺してあるのでさへも頗る品位に拘はる。これは何うしても活版でなければならぬ處だ。

此差出人の名前は、もし常にある一定の字體を用ひるならばそれを用ひたがよい——假令へば三越の如きはいつも純粹の楷書で書いた字體で、活字などはあまり使はない。而しもし一定した文字がなければ、適當な飾り文字を使用するがよからうと思ふ。活字の飾文字には平文字、ゴチック、隸書、丸

ゴチック等がある。

一、東京 二、東京 三、東京 四、東京

(一)はゴチック(二)は丸ゴチック(三)は隸書(四)は平文字である。かう云ふ字體を使へば多少美術的に見える。

よく封筒の裏には營業品目などをゴタ／＼に入れてあるのを見るが、あれは感心しない。なるべく△△商位として置くか、重な取扱品を二三書いて置く位にして置きたいものだ。商標とか電話とか振替とかは最非入れて置く必要がある。

これは宛名式に就ての話であるが、廣告郵便として出す單に封筒のものであれば裏に述べたやうに、表面に惹句を入れる、これはなるべく初號を用

ふるがよい、そして假名は二號の太いものを使用すれば體裁がよくなる。

内容は一枚刷のものに左程變らないが、特に此方法では普通の便箋——店名の這入つた——ものなどに候文にして印刷したものを出す事がある。此場合は野線は薄い茶、或はコバルト色等がよく、文字は是非黒にしなければならぬ。

私は此便箋に候文で印刷したものと、一枚刷と二つを入れ、候文の方で、挨拶と共に別紙の廣告を讀んで貰ふやうに依頼する、と云つた風の遣り方が封筒廣告としては最も丁寧で、人の感じもよく、従つて効力も多からうと思ふのである。

カード式チラシの意匠

カード式は最も美麗にしなければならぬ。出来るならば全部石版刷にした

いものであるが、もし經濟を考へるならば片面だけは是非石版或はオフセットにしなくてはならぬ。活版などでは何の効もない。

カードは大體に於て子供を喜ばせる目的のものであるから、なるべく赤色の多い、華やかな美しいものがよい。あまり高尚な意匠は不可ない。

普通の形式ならばクリスマスカードの如く、極めて優美なものにするがよろしく。商品の形をきり抜くとか人物をキリ抜くと云ふやうな場合ならば、其商品或は人物を髣髴たらしめるやうな上手な意匠でなければならぬ。下手な繪、拙い意匠は廣告として決して使用すべきでない。又あまり藝術的なものも不可ない。多少は俗でも一般向のするもの、そして優美なものであつて欲しい。

囊にも述べた如く、此カード廣告に記入する廣告文は活字で振假名付にし

たものを石版に轉寫するのが一番よい、或は文字だけ、あとで活版で刷り込んでも差支へない。

其他のチラシの意匠に就て

其他のものに就ては格別云ふ程の事もないが、吸取紙は活版で刷込み色は藍か茶がよろしく、黒は不可ない。カットは勿論凸版に限る。

本の栞りの如きはカードに屬すべきもので、表面は石版或はオフセット裏面は石版或は活版の一度刷にして置くがよい。

其他にポケット用の電車一覽とか、旅館料理店案内とか云ふものもあるがこれ等は表紙だけを美麗なる石版刷にして置き、中は六號の活字組にして置けばよい。此邊になると大分普通に云ふチラシと意味が違つて來るから此位にして置かう。

第七章 チラシの配附法

平凡な四つの方法

これ迄のチラシの配り方は軒別に一軒々々投げ込んで行つたものであつた又、四つ辻に立つて通行人に渡したものであつた。此二つの方法を考へて見るに一軒々々配つた處が、大抵は玄關口へホウリ込まれるだけで、家人は一向注意しない。何かあるかと思つても一寸見て『何だチラシか』と云つた風で取上げやうともしない。これでは一向廣告の目的を達したと云ふわけには行かない。私はまづ此方法を最も劣なものとして斷定する。

次は四つ辻に立つて配るのである。通行人の中には忙しい人もあれば暇な人もあり、思ひ思ひであるから貰つたチラシを念入りに讀んで居る人もある

が見もしないで棄て、行く人もある、亦『は、あチランだな』と最初から輕蔑して懐手をした儘、チラシを突つけられても振向もしないでスタ／＼行つて仕舞ふ人もある。そして其どちらが多いかと云ふと、念入りに讀む人は至つて少なく、棄て、仕舞ふ人、振向きもしないで行つて仕舞ふ人が多いためである。これは事實である。私は此方法も劣な廣告だと斷定する。

次に樂隊を噺し立て、其後からチラシを撒いて行く方法がある。サンドウキツチマンに配らせる方法がある。此二つは樂隊とか、或は奇抜な扮装とか云ふもので、公衆に好奇心を起させ、一體何の廣告だらうと云ふ感じを持たせるものであるから、前二者よりも幾らか増しである。

而しながらこれは品位ある店が常に用ふべき手段ではなく、年末の賣出しとか、開店の披露とか云ふ場合に、小店に於て用ふべき方法で、あまり高尚

な方法とは云はれない。

前に述べた四つの方法は其いづれもあまり感心した方法ではない。

新聞挿入のチラシ

茲に日刊新聞に挿入してチラシを撒く方法がある。これは新聞の賣捌所に依頼するのであつて、千枚の付五六十錢の手數料である。

多くの人はまづ朝になると新聞を手にする。そして其新聞が擴げられた時にチラシが出たならば、其チラシが奇抜で人目を惹くものである限り、必ず人の注意を惹く。

此方法はかなりよい方法である。廣告をしやうと思ふ範圍は大抵其邊の新聞取扱店で新聞を配達して居るから、まづ大抵は行渡る。取扱店に於て約束の數をキチンと入れて呉れさへすれば中々よい方法である。

大阪の新聞取次所では此點に着目して、日曜毎に小新聞を發行し、方々の小賣店の廣告を募集して各新聞に挿入した事があつた、今もやつて居るかどうか知らないが、面白い方法である。

其土地の商人が聯合してさう云ふ廣告新聞を拵らへ、之を新聞に挿入して撒くと云ふやうな事をすれば面白からうと思ふ。新聞に挿入せなくとも可なりなものが出來たら別に配達してもよからう。

此新聞挿入に付て、其挿入すべき日を選定する事が大事である。これは新聞廣告と同じ事で、自己の商店に有利なる日を選まねばならぬ、假令へば日曜日は官署銀行會社が休みであるから、さう云ふ人を相手にする商人には訛へ向の日である。而し、本屋などであれば、土曜日の會社の歸りがけに本を買はせ、日曜日にゆつくり見させやうと云ふ處から、土曜日に廣告するも理

のある事である。亦一日十五日は職人の休みであるから、活動とか寄席とかの廣告はかう云ふ日にすればよいと云ふやうなもので、それ〴〵適當な日があると思ふ。月給取を相手の店では月給の入る時分に廣告する。職工を相手にする店では十四日晦に廣告すると云ふやうなものである。

廣告郵便に依る配り方

今日最も進んだ遣り方は此廣告郵便である。云ふ迄もなく、郵便配達人が郵便物と同時に配つてくれる方法である。

茲に此規則を摘録する。

廣告郵便取扱規則

差出人の指定したる郵便官署にて其の區内に送達する廣告引札等各種印刷物を廣告郵便物と稱す

同一郵便区内 百通又は其端數毎に 金五錢

同一郵便區外 同 上 金十二錢

料金

同時に三千一通以上差出すときは三千一通分よりは百通又は其端數毎に同一郵便区内は四錢、區外は十錢

注意 廣告郵便は一通二枚を超過するを得ず

即ち廣告郵便は此規則の如く料金を添へてチラシを郵便局へ持つて行けばよいので、郵便局では其チラシの向くやうな處を配達人に教示し、郵便を配達する時に何枚かを持ち、郵便物と一所に入れてくれるのである。

同じ玄關口にホウリ込まれるのでも、『郵便ッ』と云ふ掛聲を共に投込まれたものは、必ず家人の手に這入り、一應は主人なり家族の目を通るのである。だから此方法は『見られる』と云ふ點に於て一番有利な方法である。

私の思ふには廣告郵便は一枚刷其儘でなく、之を封筒に入れて——即ち郵便の形式にして——配るのが一番有効であらうと思ふ。かうすれば必ず郵便物と一所に拾ひ上げられ、主人の手許に運ばれ、郵便と同じ待遇を持つて開封される。廣告の方法としては最もよい方法であらう。そして尙一層よい方法は宛名式の書狀廣告である。挨拶とチラシとを封入し、それに宛名を書いて配る方法である。

これは市ならば市内特別と云ふ便法があるから、それを利用すればよい。百本に付僅に（二十枚に對し）六十錢を以て取扱つてくれる。第四種郵便が二錢であるに對し、これは僅に六厘である。だから宛名式には是非此方法を用ひて欲しい。宛名式は兎に角此種の廣告の中で一番有効な方法であると私は思ふ。

カード式其他の配り方

カード式の如きは子供を相手にするものであるから樂である。子供の集つてゐる處——學校の歸りがけとか縁日とか云ふやうな處——へ持つて行つて之を撒けば我も我もと押掛けて來てイクラあつても足りやうがない位なものである。これ等はカード其ものが美麗で子供に喜ばれるものだけあつて、非常に事がやり安い。

吸取紙の如きものであれば、買物に來られた時渡すとか、學校の歸途を待つて學生に渡すとか、銀行會社に持つて行つて皆んなに分配して貰ふとか、これも實用品であるだけに事頗る便利である。誰でも喜んで貰つてくれる。

此外、裙形であるとか、本の癩りであるとか、單に廣告でなく、これが實用の出来るものであると、これを配るには少しも骨が折れない。金はかゝる

が廣告を活かさうと思つたらかう云ふ方法を探るがよからうと思ふ。尤も一枚刷などが死んだ廣告と云ふのでない、一枚刷などは拵へるのにむづかしいものであるから、下手なものを拵らへる位ならば、誰にでもスグ思ひ付かれる實用的のものを拵らへる方が得策であると云ふのである。

兎に角よく出來て居なければならぬ

之を要するに、一枚刷でも封筒入でも實用向のものでも凡て上手に出來て居なければ何もならないのである。いくら宛名式封筒廣告が一番有効であるといつても、其内容が少しも人を惹付ける力のないものであれば、切角需要者の手迄這入つて行つても讀んで貰ふ事は出來ないのである。亦新聞挿入廣告が面白いと云つても汚ない紙に印刷された拙い廣告であれば誰も讀んでは呉れないだらう。之に反し、玄關先に投げ込まれたチラシ廣告でも、もし其

意匠が奇抜で、「何だらう」と思はれるやうなものであつたら人は拾つて見るであらうし、其冒頭語が巧妙に出来て居て、讀まなくてはならぬやうに書かれてあつたら、誰しも思はず知らず讀んで仕舞ふ。

配り方の研究は勿論大事であるが、此拵らへ方は一層研究をしなければならぬ。諸君よ、本書の實例は必ず諸君に拵らへ方に就て多くの暗示を與へるであらうと思ふ。熱心に御研究あらむ事を望む。

第八章 チラシに書くべき内容

商品の廣告を主とするチラシ

チラシの形式、チラシの意匠、チラシの文章、チラシの配り方に就ては既に之を述べた。茲にはチラシの内容を如何にすべきかと云ふ事を書いて見やう。

先づ最も多く行はれるのは商品を廣告するチラシであらう。新しい商品を賣出すとか、既に世に出て居ても未だ行渡らない品物を廣告するとか、既に世に出て居ても他の品と競争する爲に、或は人に忘れられないやうに廣告するとか云ふやうな場合である。

此等の場合の中、新しい商品を賣出す場合には其廣告文はなるべく其商品の特徵なり、使用法なりを詳しく解かなければならぬ。云ふ迄もなく初めての商品であるから詳しく書かないと人の頭に這入らないからである。而しこれは却々むづかしい事で、其冒頭語にも、其本文にも、其カットにも非常な苦心を要する。なるべく専門家の手を煩はした方がよからう。

既に世に出て居るものをより以上に廣告するのは左程困難でない、只反覆

繰り返せばよいのである。説明をあまり加へる必要もなく、冗長な本文を拵らへるにも及ばない。此場合注意すべきは、此意匠なり、文章なりは既に廣告したる體裁となるべく似た形式で廣告する事を忘れてはならぬ事である。意匠や文章が全然變つて仕舞ふと、此廣告に馴染がなくなるから、初めて見るやうな感じを興へるものである。これは損な遣り方である。諸君はクラブや仁丹が既にクラブ式仁丹式の形式があつて、其意匠文章には時季と場合とに依つて多少の相違こそあれ、大體に於て一定の形式を守つて居る事を知つて居らるゝだらう。それは即ち此理由から來たものである。

いづれにしても商品を廣告する時には、此商品の名と特長と使用法を出来るだけ解り易く書く必要がある。此三つをおろそかにすると其廣告は何もならない事になる。そして亦商品を現はすカットが必要である。此カットは一

目して直ちに何の廣告であると云ふ事を知らせる爲に用ひられるもので、なくてはならぬ有力な要素である。

商店を廣告するチラシ

次は商店を廣告するチラシである。初めて店を開いたとか、既に開いて居る店でも一層其名を擴めやうとか、他店と競争的に廣告しやうとか云ふ場合に用ひられる方法である。

初めて店を開いた場合には其場所、商店名並びに其營業と營業方針などとなるべく詳しく書かなければならぬ。何町の何丁目、何々堂の向ひとか、隣とか目印を拵らへて出来るだけ詳しく書く必要がある。商店名並に屋號商標でもなるべく人の目を惹くやうに、大きく注意させる様にしなければならぬ。其何商であるかを書く事は云ふ迄もないが、其營業の方針を書く事も必

要である。假令へば『日用御使用になる安くて便利な品を賣る主義』とか『流行品のみを揃へる方針』とか云ふやうな事である。平凡な『薄利多賣』とか『品良價廉』などでは面白くない。

既に名のある商店の廣告ならば、其名を一層深く人の頭に入れればよいのであるから、其廣告も骨は折れない、只なるべく同じ形式のものも繰り返して居ればよいのである。

いづれにしても此廣告を書く時には其商店名を印象に残させるやうな書き方と其店の特別な待遇法とか勉強振とかを思はせるやうな書き方に苦心しなければなるまいと思ふ。そして其カット等は只人の注意を集めるだけのものであればよからうと思ふ。

商品と商店名を廣告するチラシ

茲に此二つを一緒にした廣告の形式がある。これは商店名を廣告すると同時に新しい商品を紹介しやうとする廣告である。

地方などで、東京や大阪の仕入先から到着した新しい商品を顧客に廣告したい場合、執るべき廣告手段はまづ此方法であらう。

此廣告は既に名の知られて居る商店に於て用ひられる方法であるから、其商店名を廣告するよりも、其新しい商品を紹介する事に努めなければならぬ。

即ち廣告しやうとする商品を一つ／＼カットを入れ説明を加へ定價を入れてカタログ式に並べて行くので、最後に商店名を附屬文字として置く形式が最も普通の形式である。而しこれでは人の注意を惹く力が足りないから、冒頭語或は最初の挨拶文に出来るだけ本文を読ませるやうに工夫をしなければ

ならぬ。假令へば、

今東京から着いたばかりの品、いづれも最も新しい流行品でムいます。

とか。

東京で今流行して居るものが澤山到着しました。御紹介いたします。

とか云ふやうな意味で、人の好奇心なり興味を惹起すやうに工夫しなければならぬのである。

客引策と賣出しのチラシ

これは普通小賣店に於て最もよく用ひられるチラシである。中元大賣出し
年末大賣出し、夏物大賣出し、冬物大賣出し等いろ／＼の賣出しには必ずチ
ラシを撒くやうになつて居るやうである。亦バーゲンデーとか、記念特賣デ
ーとか、其他いろ／＼の客引策を考へ出してチラシを配る事がある。

其賣出しの方法や客引策の面白い考案などは是非諸君にお話したいけれ
ど、本書はチラシの書き方を説くのが目的であつて、さう云ふ考案を並べる
のが目的でないから、茲には述べない。而し著者は別に『客引策と賣出し法』
と題して、新しい考案のみを書いた本を拵らへて居るから、それを是非讀
んで貰ひたい。それには賣出しや客引策の廣告文の實例も澤山書いてある。

(二冊五十錢佐藤出版部發行)

客引策や賣出法を廣告する時には、景品客引策、福引客引策、割引客引策、
其のいづれにせよ客引策の面白味を十分チラシに書かなければならぬ。見た
人が『これは面白さうだ』と云ふやうに書かなければならぬ。今日用ひられ
て居る客引策は多くは平凡であつて且つ徒らに射倖心を利用せんとする俗な
ものが多い。あれでは今日の中流の紳士や婦人に歡迎される筈はないから、

商人諸君もよく工夫して、もつと興味の多い、もつと上品な方法を考へなければならぬ、亦廣告も其積りで書かなければならない。上品に書く事は其客引策に信用を興へるものであるから、是非心得て得なければならぬ。

また此外に、移轉のチラシだとか、電話架設のチラシだとか、業務擴張のチラシだとか、云ふものもあるが、いづれも其廣告をせんとする目的物を中心にして廣告すればよいので、お話しする迄もない事であるから、まづ此邊にして置く。

實例に就て

一、實例には冒頭語の書き方とか本文の書き方とか附屬文字の書き方とかを模範的に示してある。これをスグ利用する事は何うかと思ふが、これを見れば大抵其方法なり所謂「コツ」なるものが解るであらうと思ふ。諸君は之をスグ利用しやうと思はず、これに依つて研究し自分で書けるやうになつて貰ひたい。

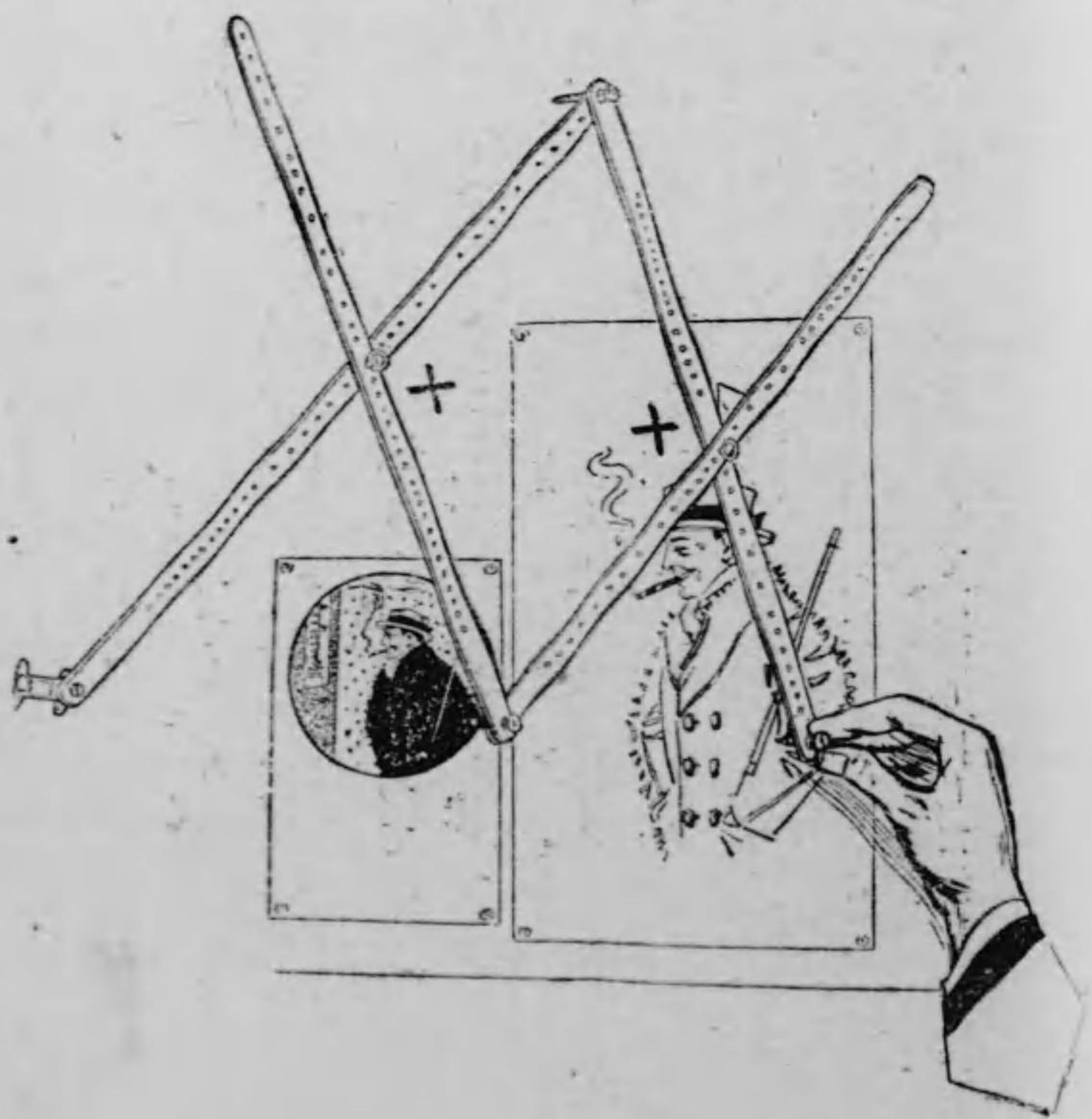
一、カットの入れ方、——どう云ふ處へカットを入れるかと云ふ事——や、冒頭語の位置及び活字の大きさ、本文の位置及び活字の大きさ等も、實例を見れば大抵わかるだらうと思ふ。諸君がチラシを拵へる時には、之に準じて、之に比例して其體裁を拵らへればまづ大丈夫だらうと思ふ。

一、此實例は何しろ小さい場所に入れてあるのだから非常に小さくなつて居る、だから活字もカットも此二倍位の大きさを實物の大きさとして取扱つたらまづ間違はなからうと思ふ。即ち茲に二號活字を用ゐてある處は初號活字、五號活字を用ゐてある處は二號活字を用ゐて大抵よからうと思ふのである。

一、此中のカットを其儘用ゐやうと云ふならば、印刷所に命じて、此カットを凸版に取ればよいのである。凸版は大きくても小さくても自由自在であるから必要な大きさにする事が出来る。もし凸版をやつてくれる印刷所がなかつたら次のやうな器具を用ゐて、圖を引伸し、それを木版にすればよい。

一、實例は本の都合上、只一枚刷の形式だけを用ゐた。而し摺込の形式を探

るにしてもカードにするにしても、此活字の配置、カットの入れ方等に於ては別に變つた事はないのであるから、これだけ示せば大抵は應用が出来るだらうと思ふ。



一、凡て本と云ふものは何から何迄に互つて凡てを具體的に書くと云ふワケには行くものでない。假令ば此實例に於ても、あらゆる商賣、あらゆる商品、片つ端から書いて行つた日には何千頁あつても足る筈がない。本は只暗示を與へればよいのである。此實例を見て『俺の所は呉服屋だから呉服屋の實例だけ見ればよからう』と云ふやうに考へて貰つては困る。呉服屋であらうが、雜貨屋であらうが、それは只書き方を示す例として引張り出した迄の話して、目的は其文章の書き方なり、注意を惹く要點を示したり、或は活字の配置やカットの置き方を示したのであるから、假令商賣違ひであつても十分研究して貰はなければならぬ。従つて『茲に俺の商賣は出て居ないから』等と云つて此本を讀まなかつたら飛んでもない事である。茲では最もありふれた商賣のみを例として引張り出した迄である。

各商店と
各商品の
チラシの書き方實例



の帽子は△△屋

上品な山高

意気な中折

手輕な鳥打

清酒なソフト

何れも

一九二七年型

△△市△△町△△番地

△△屋帽子店

電話一三三番

外出に△△堂のべールを

- お美しくしさを一層美しく見せるべール
- 埃を避け肌觸りに快感を覚えるべール



べールは貴婦人、令嬢の持たなくてはならぬものであります。
 氣の利いたべールをお持ちなさいませ、△△堂にいろいろありますから。

△△市△△町

△△堂雜貨店

御馳走は△△町の△△堂

□ 北海道の大きな蟹でも、臺灣の大きな梨果でも、國産雜詰は何でもあります、勿論米國や佛蘭西の珍味もあります。
 □ 赤い酒、青い酒など云ふ、新しい美味しい西洋の酒もいろいろ取揃へてあります御婦人でも子供でも美味しく頂ける酒もあります。
 □ フロ〜とした柔かいパン、鮮な、そして美味なバター、ザヤム、チヨコレイト、ココヒ、紅茶、ココア、ソリス、等日常御使ひの品、何でも揃います。
 □ 電話おかけ下さいませすればスタッフが持参いたします。亦店員を折々廻らせますから其節御注文下さいませ。

△△市△△町
 △△堂食料品店
 電一二三番

ふるいつき
たいやうな
新柄ばかり



二月一日より二月十五日まで

□ 格安物

- 三十銭均一 五百枚
- 五十銭均一 五百枚
- 七十銭均一 五百枚
- 一圓均一 三百枚
- 一圓二十銭均一 三百枚
- 一圓五十銭均一 二百枚
- 二圓均一 百枚

□ 賣切後は均一の値段から普通の値段に戻ります。

△ △ 半襟店

新柄半襟會

意気なもの
派手なもの
遊いのも



カダログ
入りません
か……

△ △ 市 △ △ 町
△ △ 屋 乳母車 販賣店
電話 一 二 三 番

自分の工場で製造してスグ賣るのですから、値段がお安くいたします。

△ △ 屋の乳母車は

仕事が可憐で、極めて丈夫で、いますから、破損の心配が少なくなります。

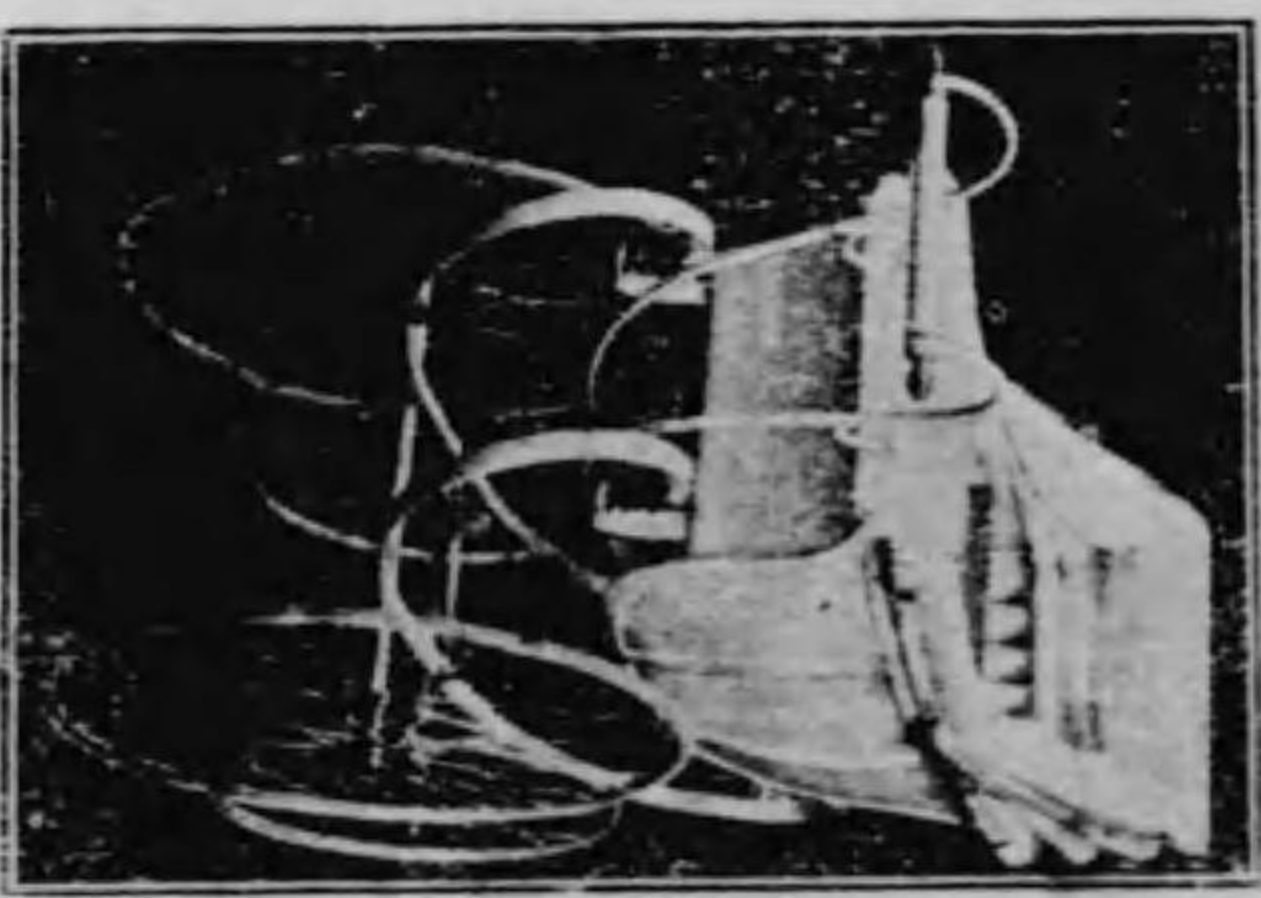
△ △ 屋の乳母車は

だからお子達の爲に宜しくいたします。

△ △ 屋の乳母車は

凡てゴム輪で乗心地が何とも云へません、

乗心地
のよい
乳母車



お大事なお子達には



誰の前でも
威張つて
出せる
手袋！

暖かくて
穿心地の
よい
手袋！

革手袋、擬革手袋、スコ
ツチ手袋、毛糸手袋、絹
手袋、舶来品、國産品い
ろく取揃へてムい升。

一デ賣特袋手

十二月一日より十二月十五日まで
此時期中は手袋に限り定價の1割
引を以て差上げます。これを賣盡せ
ば期間中でも残念ながら割引を取
りません。

△△市△△町
△△商店
電話 一二三番



秋の花
のやうに繁
店にはいろ
／＼の品が
咲揃ひまし
た。

十月一日から

流行品覽展會

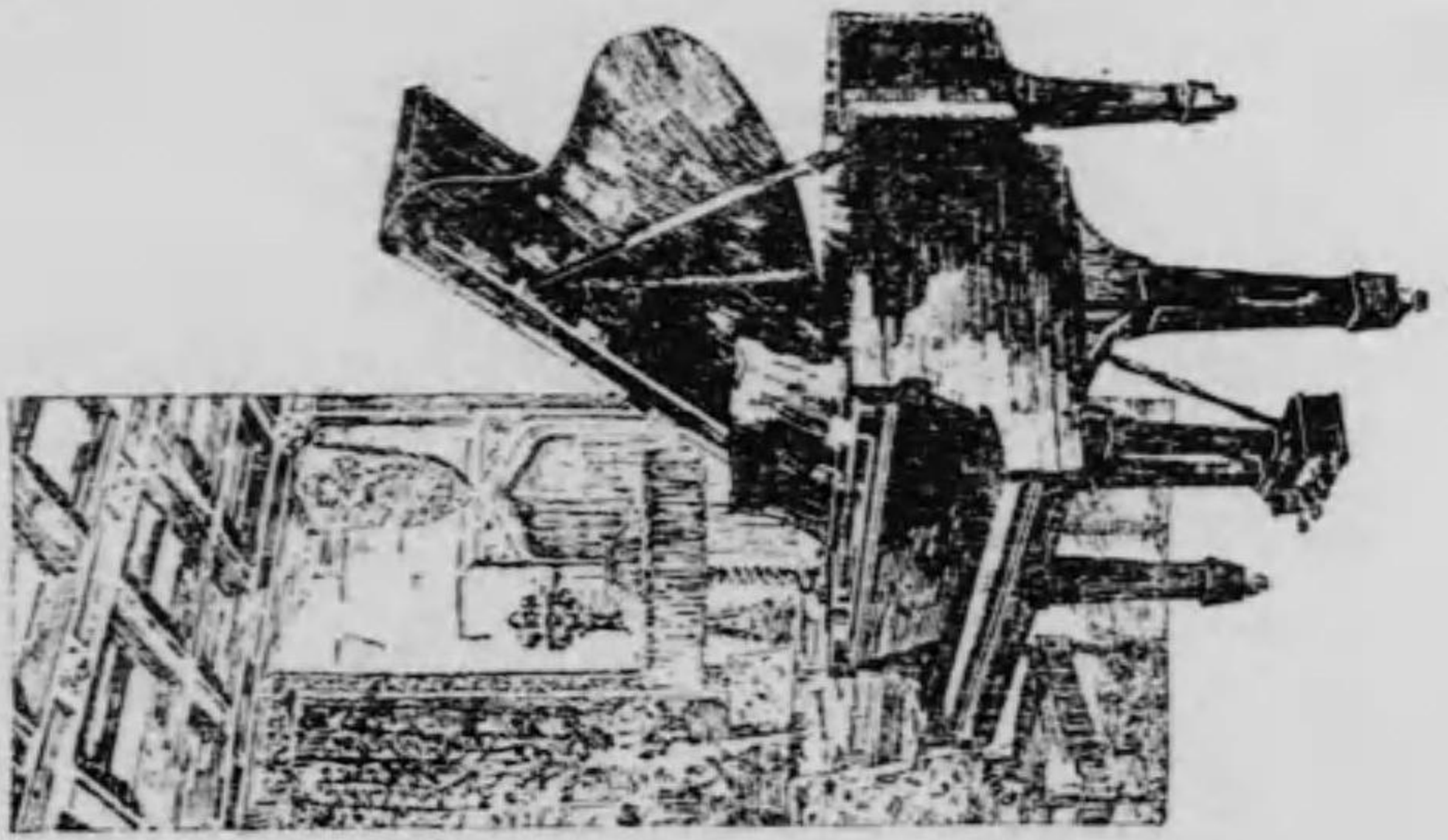
ぜひ入らして

下さい

△△市△△町

△△商店

電話 一二三番



上流の御家庭に

なくてはならぬ△△ピアノ

- △△製のピアノの美妙的な響きは如何ばかり御家庭を賑やかに楽しくするでせう？
 - 御令嬢のいらつしやる御家庭には唯一の交際道具として御家庭の娯楽道具としてぜひ御備付け下さいまし。
 - お厭ひもありませんでせうが、△△製のピアノは舶来よりもよいと評判を受けて居るにも拘らず、値段は至極お安う御座います。
- カタログ御申越下さい
スグ御送りいたします。

△△市△△町
△△楽器店
電話一二三番

には何よりかより
貴つた人が屹度喜ぶ
△△屋の果物
電話にて御申付次第
御届けいたします
△△市△△町
△△果物店
電話一二三番

中元の進物の



The Best Gift of All



紳士間の御進物には

あらゆる品物を超越して

△△△ 万年筆

獨り最も歓迎されつくあり

| | |
|---|---|
| 定 | 價 |
|---|---|

△△市△△町

△△文具店

電話一二三番

電話にて御申付あれ直
ちに各種取揃へ持参す

一番

涼しさ
うなさ

紳士は

ベリスポ
ールの鏡
技汗を見
かかて居
ます。

△△洋服店の

麻の背廣を着て

居られます。

麻洋服一着金△圓

△△洋服店では麻の洋服が一番

よいと思ひ特に澤山麻地を準備し

ました。

それ故素敵に安い値段で御注文

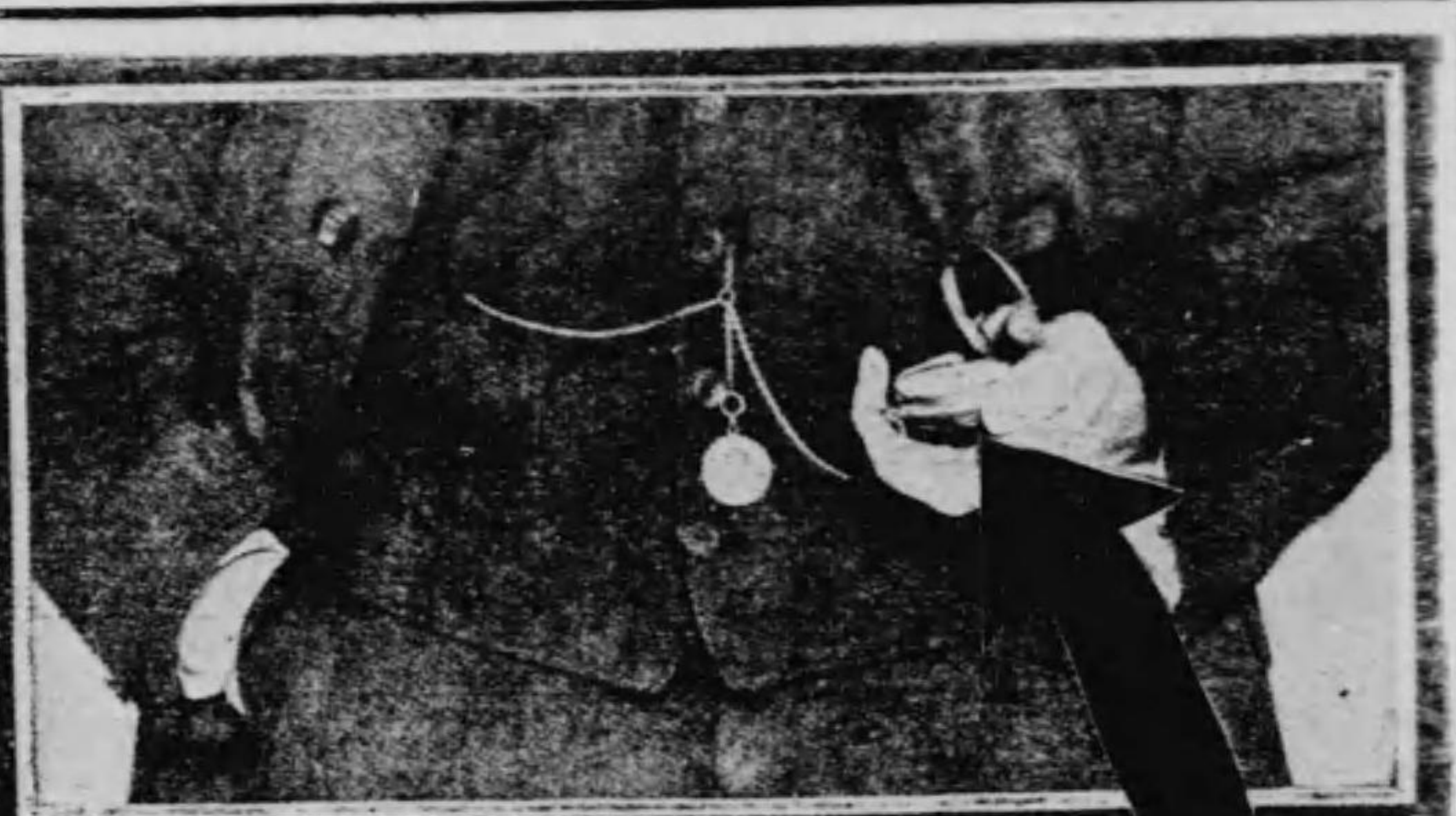
に應じる事が出来るので△います

品切になれば麻の値段になりますから

今の内にせよ御持らへ下さいませ。

△△市△△町
△△洋服店
電話一二三番





時計

は……………

今日も昨日も一昨日も
午砲にキチンと合ふ時計

- 第一 時間の正確なこと
- 第二 丈夫で體裁のよいこと
- 第三 値の比較的安いこと

此三ヶ條に適ふ
た時計は小店に
のみ得らるべし

△△市△△町
△△時計店

御家庭に…
御旅行に…

フワ〜として氣持のよい

△△商店製の羽蒲團を

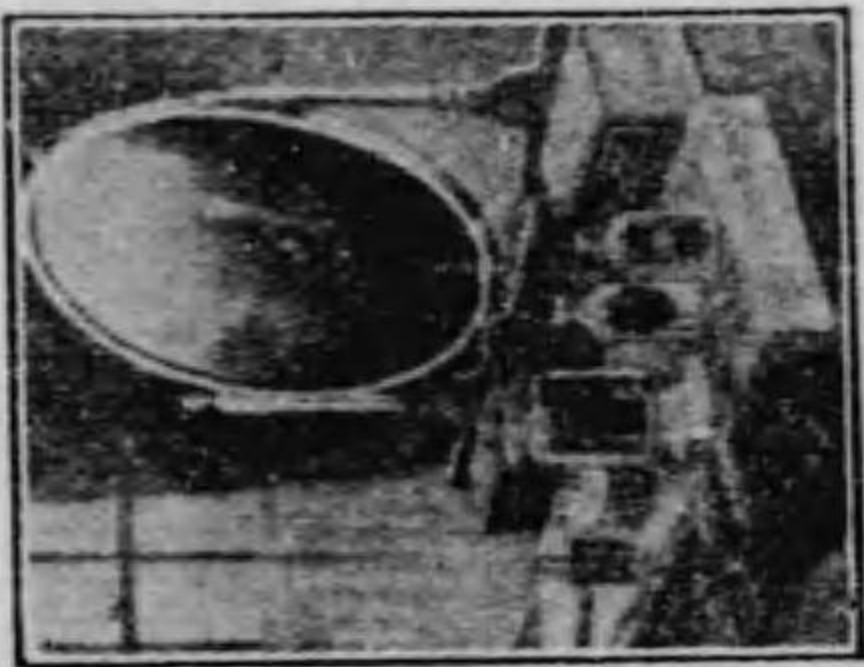
△△市△△町

△△雑貨店

電話一二三番



御婦人はぜひ御読み下さいませ



鏡臺にもし無い
ものがあればス
グ△△屋小間物
店へ

化粧

用の道具や白粉香水石鹸などは
今流行のものばかり取揃へて居

ります。同業者にはミツグやクラアや花王
などを特に損をして賣つてお客様を引か
うとして居ますが、私共では損をして賣ら
ないカハリよいものばかり安く差上ります

安心

して買へる店は△△屋、安くてもよ
い品を賣る△△屋

△△市△△町

△△小間物店

電話一二三番

△△市△△町
△△果物店
電話一二三番

五十錢籠入
八十錢籠入
一圓籠入
一圓五十錢籠入

等籠はいます。
優美はいます。
す。美でいれま

貫つた人の屹度喜ぶのは水菓子です、其籠に
盛られた新鮮な水菓子の美しさ、ぜひ
御進物には△△屋の水菓子を御用ひ下さい。

御進物として



新鮮で消化のよい△△屋の水菓子

お坊ちやまに



願の落ちるやうな

西洋料理は



西洋料理！

□ コックは佛蘭西仕込、極通な御馳走を拵ら

へます。

□ 材料を精選して居ますので本當にお味う

まいます。

□ お客様の御食事に、出前もいたします、電

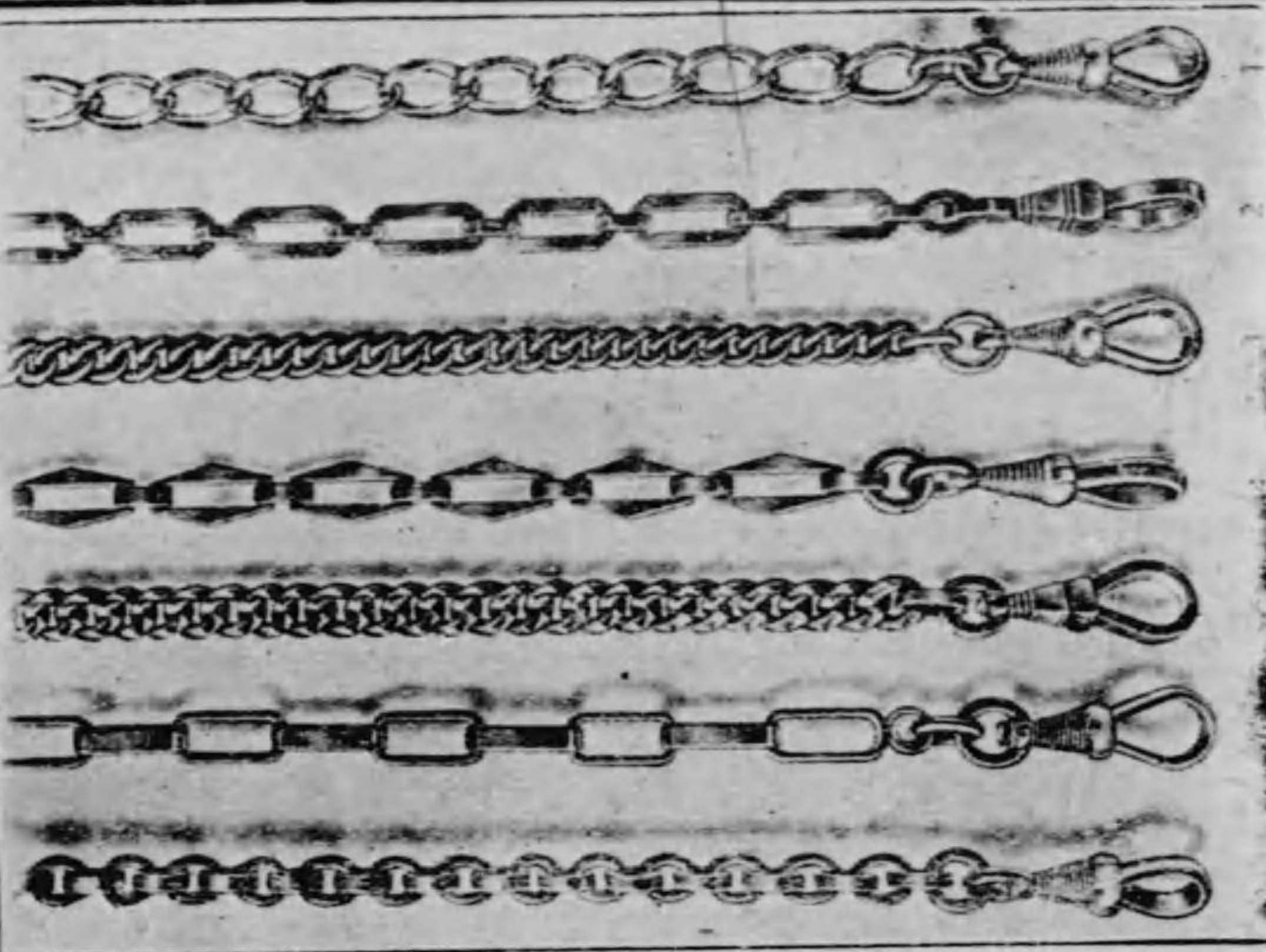
話おかけ下さい。

□ 新しい店ですから値段の安いのを見てい

たどうかうと思つて居ます。

△△町△△座の前

亭
電話 二二三番



■■■(金そのものの値段)■■■

| | |
|------|------|
| 純金製 | 貳拾金製 |
| 拾貳金製 | 拾八金製 |
| 拾六金製 | 拾四金製 |
| 拾四金製 | 拾二金製 |
| 拾二金製 | 拾金製 |
| 拾金製 | 八金製 |
| 九金製 | 七金製 |
| 八金製 | 六金製 |
| 七金製 | 五金製 |
| 六金製 | 四金製 |
| 五金製 | 三金製 |
| 四金製 | 二金製 |
| 三金製 | 一金製 |

御註丈の節は掲載圖によつて第何番目の何匁と御指圖を願ひ
ます。量目は製造仕上げの都合で多少の増減が御座いますから
量目の差違による價格の變動は掲載價格に準じます。

△△町△△町

計時店
電話 二二三番
替 二二三番



最新流行 ネクタイ陳列會



どれを見ても
意気で上品な
柄ばかり...
流行遅れは一
本もないネク
タイの陳列會

三月一日より三月十五日までの會
期中にお越し下さい。そして少し
でもよい柄を早く御撰定下さい。

紳士諸
君は！
ぜひ共

安いのは 三十錢から五十錢位
上等のは 一圓から一圓五十錢位

いろいろ
あります

△△△市△△町△△番地

△ △ 雜貨店

電話 一二三番

△△市△△町
△△市△△町
電話 一二三番

お召でも、銘仙でも、縮緬でも、帯側でも、セルでも、ネルでも、浴衣でも、今お買ひになるのが一番お徳です。

絶季の時

入らして下さい。
三割引のもの五割引のものと云ふやうなの
があります、經濟を重んずる奥様方はぜひ

藏拂ひ品

店内にも店頭にも山のやうに積んでいま
す。いくらでも御選擇あつて、掘出物を探
して下さい。

掘出し物



年に一回の
中元賣出し
七月一日より
同十五日まで

電話一三三番

△△市△△町

△△市△△町

い、屹度坊ちやま嬢ちやまがニコくと遊ば
されます

子供用ウルルシヤツ

は小店の特製品で
も快うよい感覚を興へます。

子供用ウルルシヤツ

は柔かくて肌ざばりが
決して風邪を引く心配は
ありません。

子供用ウルルシヤツ

は全部羊毛で
からホカくと暖かく

と思ふお母様は
『お子達に風邪を引かせまい』



1111

活動家にぜひ必要なる

便利な目覚枕時計



正金六圓五拾錢

此時計は米國アンソニア時計
製造所にて、今迄にない
ル側の極實用の時計として
座られたもので、一週間に
の様に毎日、それと目覚
ませ入で、一回捲込めば之
れで毎朝日覺の御希望の
定時に其儘鳴る様にあり
ます。(文字板直徑三寸五分)



正金六圓

之も珍しい時計で御座
之れは毎日捲きで外部は
鮮明な陶製の文字板によつて
それで上部に附居ります
間に、何れに其際の時を
計と目覺に附居ります
御座います。計として非
利りあります。計として非
常便

- 市内は御申越次第スグ御届けいたします。
- 地方は小包料(△△錢)を添へ御送金下さいますればすぐ御送りいたします。
- もし破損して居れば御取換いたします。

△△市△△町

△△時計店

1111

お買物は

△△屋
呉服店
に限る

二月一日より
同十五日まで
片側帯地陳列會

意氣なもの、派手なもの、濫いのも、いろくムい
ます。いづれも此春の流行ばかり、是非御越し下さい



□□町の□□雑貨店

春が来た

春のチョッキ ■ 春のワイシャツ ■ 春の帽子 ■ 羽
が生えてお客様に賣れて行く時季が参りまし
た。東京から流行品澤山着荷一刻も早く入らして下さい。



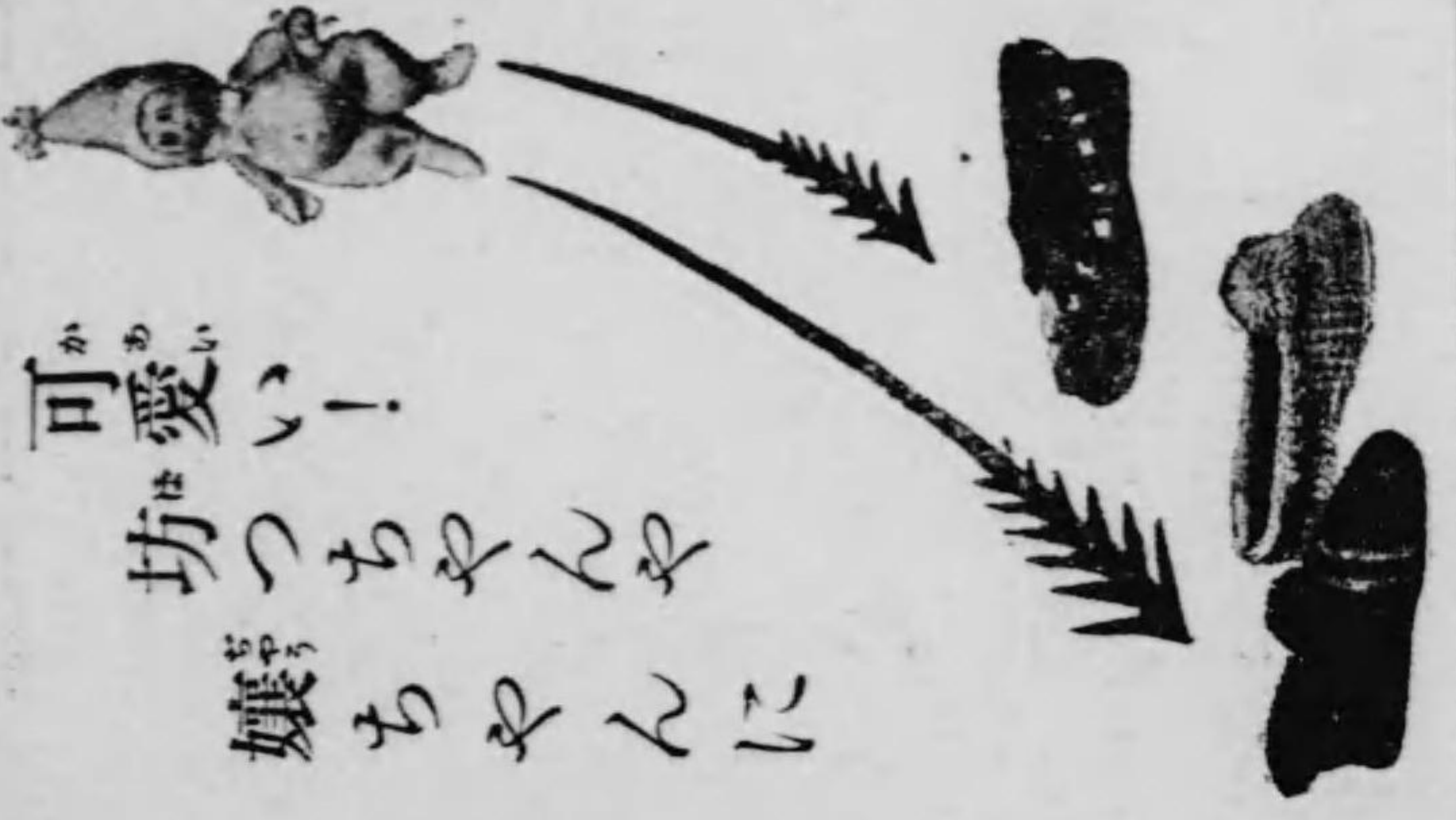
可愛らしい
のが澤山陳
列してあります

△△市△△町
△△△商店

電話 一 二 三 番

| | |
|-------|--------------|
| スコッチ製 | 金△十錢より金△十錢まで |
| 毛糸製 | 金△十錢より金△十錢まで |

フクくとした
暖かい足袋を
穿かせて上げて下さい



可愛い！
坊つちゃんや
嬢ちゃんに



裾模様圖案陳列會

□十月二日より十月十五日まで小店の階上に於て催します。

□裾模様をお拵らへになる方にはぜひ見たいだけかねばならぬ新しい圖案ばかり陳列してあります。

□圖案はいづれも小店が今春より夏にかけて懸賞募集したるものゝみでふいます。

△△市△△町
△△市△△町

電話 一 二 三 番

呉服店



ダイヤルビーさてはエ
 メラルドの寶石入指輪
 安心して買へる△△商店
 三圓位方種々新らしき流
 行を取揃へてムいます。

眼も醒めるやうな柄ばかりの
 浴衣地展覧會



△△町 △△吳服店
 此一日よ
 十日迄



業 露
開 披

玉 突

春の日永となりました。御暇の御運動にはぜひ玉突をなさいませ。新らしい玉突臺、滑らかな大理石の紅白、突きよいキュー、そして美しい聲でゲームを取るうら若いゲーム取りが、どれだけか春ののんびりとした趣を見せるでせう。失禮ながら初心の方には秘訣をお教へいたしませう、玉突は最も現代的な交際道具、ぜひ一通りは突けなくてはなりません。

△△町△△番地△△の向ひ

△ △ 亭

〇四

山には櫻 野には菜の花が 咲きました。

五百本 限

十五日より 三月一十五日迄

御散策に なくてはならぬ

スナツキの特賣會

店傘洋△△の町△△

〇四



△△幼稚園々長△△△先生の
 △△幼稚園々長△△△先生の
 御指圖に依り衛生から見てまた教育から見て
 悪いものは一切除いて、本當によい玩具ばかりを揃へております。

是非△△屋でお求め下さい。
 お子達を上手に育てたい母さんは

△△市△△町
 △△屋玩具店
 電話一二三番

三月一日より十四日迄の中に
 ▲圓以上御買上的方々に
 ■抽籤券を差上げ、抽籤に當つた方三十八
 ■様を御招待いたしたと存じます
 ■抽籤は御買上の際抽籤券を差上げ、十四
 日小店に於て公平に抽籤いたします

■今度大阪から乗込んだ雁次郎一座は實に
 面白いさうですから、小店のお客様を御に
 招待して觀劇會を催さうかと存じます。
 ■而し、多勢のお客様を盡く御案内申上ぐ
 るワケに參りませんので、甚だ勝手なが

ドナクを御招待するか
 觀劇會

三月十五日は
 △△屋のお客様招待



△△市△△町
 △△商店
 電話一二三番



頭をぶつつけても
振っても叩いても
容易に切れぬは
マツダランプ

電機店
番地△△△番
町△△△
電話一三二番

御方が
一個でも
より十銭
一個より

屑けいたします

お花見に、御散歩に
△△屋の洋傘を御持ち遊ばせ

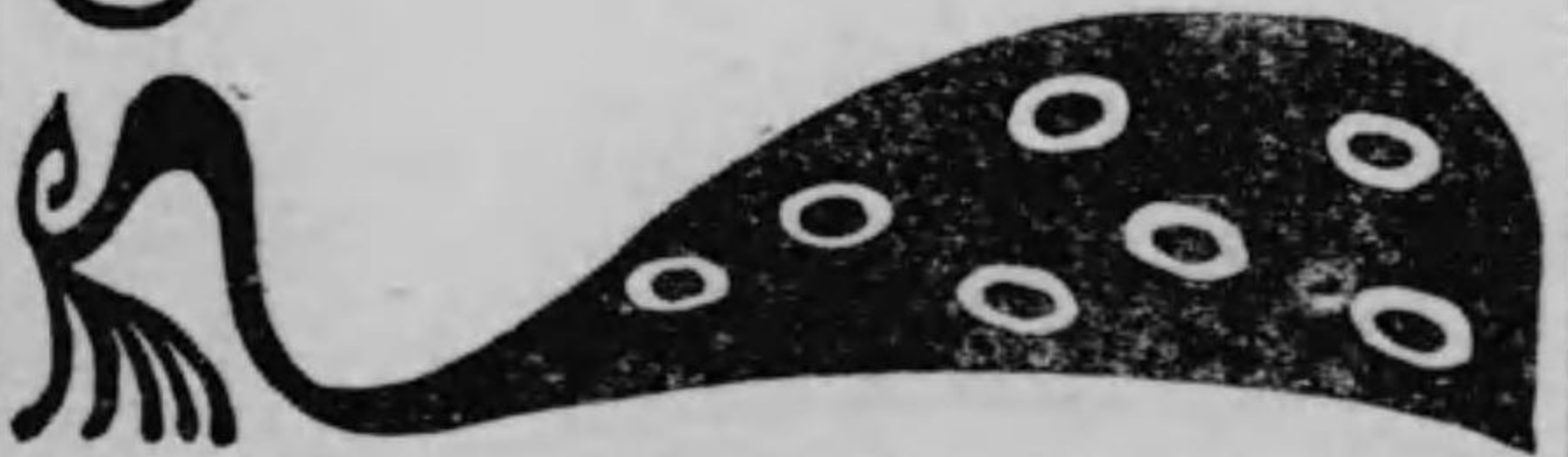
現代式の洋傘
色合や模様の最も新しい味のある
は△△の洋傘で△△います、是非御来店
の上、御覧下さいまし。

紳士用洋傘
淑女用洋傘
各五百本
□これだけは均一
に五圓、四圓、三
圓の三種に別け
て賣出します。
二月一日より
二十五日迄
□均一價格以上の
品を安くして△
います。ぜひ賣
切れない内に御
来店を。



電話一三二番

△△市△△町
△△洋傘店



これならば

御覧の通り新柄で

至つて上品!

値は飛切り

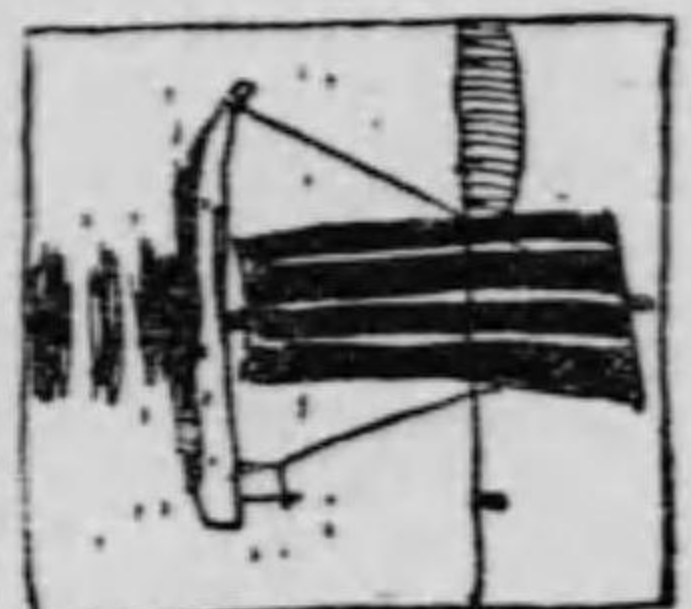
安價即ち

金五圓均一

でらます。



此夏は
何處へ?



御旅前のビビ堂へ

- 夏の膝掛.....
- 軽便な夏の鞆.....
- 穿心地よい夏の靴.....
- 紳士用の洋傘.....
- 氣持のよい羽清團.....
- 重寶な魔法瓶.....
- 空氣枕やクッション.....
- 海水浴着.....
- 御婦人用手提袋.....
- サンマコート.....
- 紳士用蓑入.....
- ワイシャツ.....
- 涼しい夏のチヨツキ.....
- その他いろく.....

電話 三三二一 番 市 三三二一 番 町 三三二一 番 振替 三三二一 番 地



いよこ
旅の季節



年の暮の

お買物は



ぜ 呉服店にて

年の暮の買物は非常に安くて品のよい、所謂『掘出し物』を探さねばなりません。

掘出し物

は十二月廿日より十二月卅日までの

の中に必ず隠れて居ります一日も早く来てよい掘出し物を探して下さい。

- 金一圓均一品
- 金二圓均一品
- 金三圓均一品
- 金四圓均一品
- 金五圓均一品

△△屋の石鹸大安賣ア！

□此日は一千個限り上等の石鹸を飛切りお安く差上げます。一千個賣切れたら後はもういけません。

□お一人様に付三個以下御買求めを願ひますなるべく澤山の御客様の御満足を得たいのが希望でございますから。

三月一日は

賣れ切れない中に早く入らして下さい。

奥様方！



石鹸を買ふ日

三月一日(土曜日)は

△△市△△町
△△小間物店

電話一三三番



佛蘭西流の御料理

- カフェ△△△△では上品で氣の利いた
フランス料理を差上げます.....
- カフェ△△△△には赤い酒青い酒白い
酒、いろいろの甘い酒がふれます.....
- 南國の薫りなつかしいブラジルカフェー
は紫の香をなびかせて居ます.....
- 新らしき趣味を愛する御客様に此現代的
なカフェーをお知らせします.....

△△市△△町

△△△△**カフェー**

電話△△△番

屋



京の舞妓の着るやうな

色美しい京染の西陣友禪は

▲▲町の △△屋吳服店へ

△△△市△△△
部子帽屋△△△
町

本日到着
御求め
さい下



繁昌を生み出すものは

氣の利いた廣告印刷物

■紙代が上り、インキが上つて、印刷所は中
中やりきれませんが、小店の勉強振を見て頂
くのはかう云ふ時であると云ふ考から、平素
の値段と左程違はない値段で御用命に應じま
す。
■紙が上つたから印刷を見合はして置かうな
ど、被仰つては可ません。商賣の繁昌は廣
告印刷物が原動力です、其原動力を作らなけ
れば大變です、せし此際印刷なさい。假令一
枚刷でも御註交下さいませ。

強勉大き如のくか

△△印刷所の特長
仕事丁寧で綺麗
て約束した日を間
違へぬ他の印刷所
で見られぬ値段

△△市△△町
△△印刷所

電話二三番

花子さんも春子さんも
百合子さんもみんな△△堂の
エプロンをして居られます



△△堂のエプロンは地質がよいので、いくら洗濯しても大丈夫です。仕事に念が入れてありますから中々綻びません。製造して賣るので、から値段が非常にお安うムいます。

おつ母様に申し上げます。
坊ちゃんにも嬢ちゃんにも
ぜひ△△堂のエプロンを

△△堂
△△市△△町

△△洋服店は
新流行の生地
と仕立の垢埃
のしたのと
で評判

御申越次第サブレ
御用命を
いたします

△△市△△町
△△洋服店
電話二三三番

は△△洋服店の仕立に限る



キチンとした夏の洋服

一分の隙もない

趣味高き家庭には

書齋用として常に

△△堂の香筆墨を



△△堂の

香の薫煙は佳客の接待に快感を與へ
墨は日本式帳簿に使用ひよき事理想的
筆は粘氣なく色澤漆の如く美麗なり

△△市△△町

△△堂文具店

電話△△一二三

屋

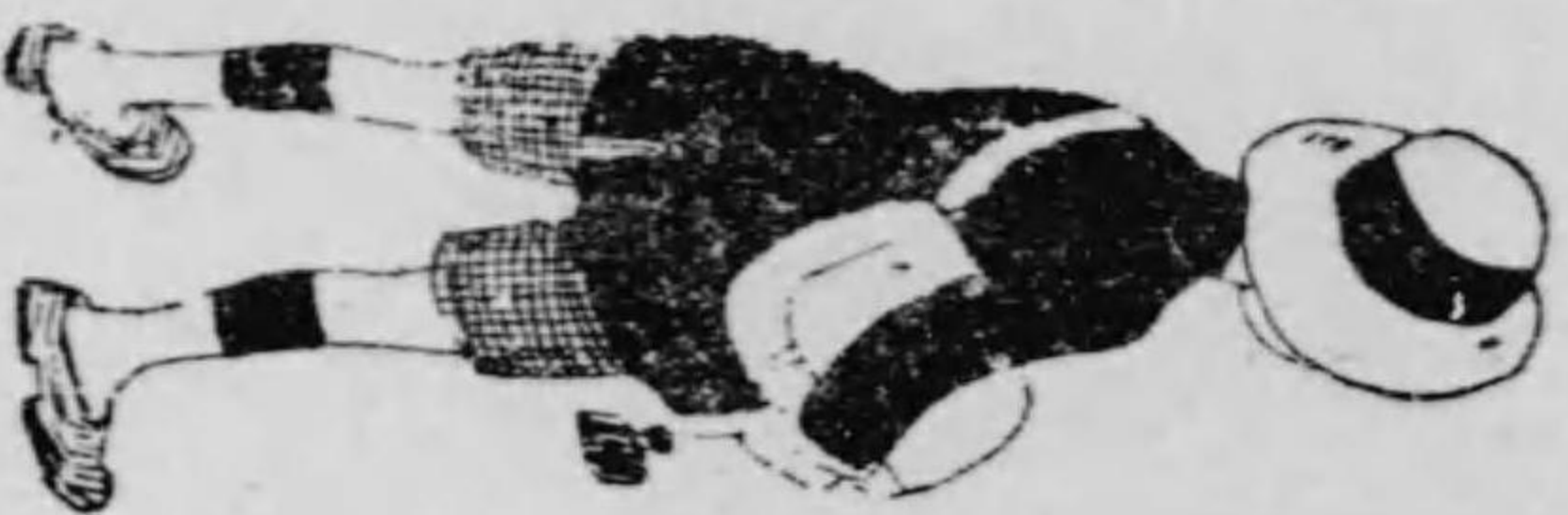
△

は

具

房

文



早く△△屋へ行つて
上等の文具を買はう。

先生もおつ母さん
△△屋で買へと被仰た

□△△屋の品は上等だ
便利なものばかりだ

□学校で使ふものは
みな△△屋で買はう！



△△市△△町
△△文具房具店

明日の日曜には
 家でゆつくり読書をしよう

新刊の書籍

新刊の雑誌

澤山到着

いたしまし

た。



雑誌は

定價から五分引の勉強

書籍は

定價から一割引の勉強

△△町

△△書店

△△町
 △△靴店

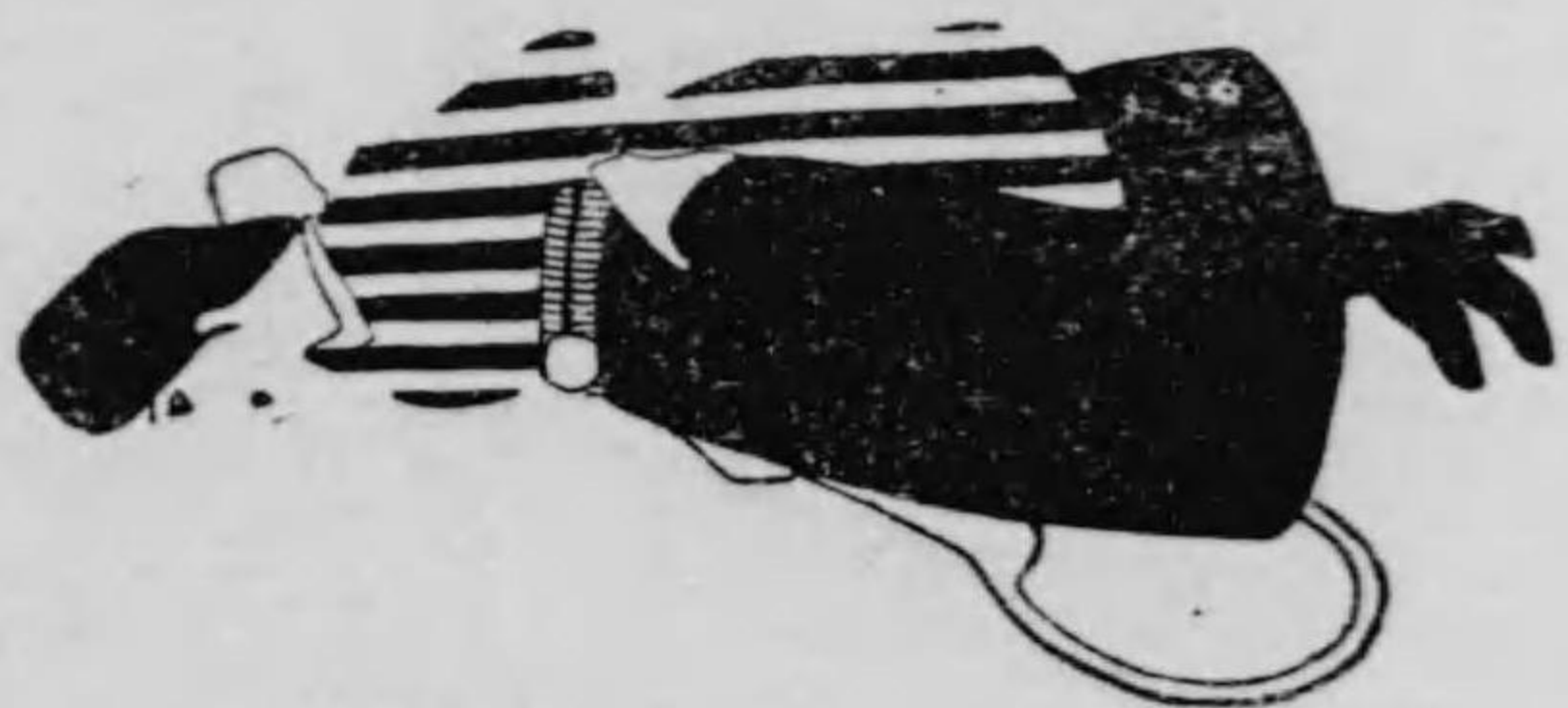
御歩き遊ばせ
 □キチンとはまる穿心地のよい
 出来合靴が澤山入ります。
 □仕事に念が入つて居ますから
 丈夫な事は請合つて置きます
 □お誂へは一週間で確實にお拵
 へいたします。

△△堂の靴を

最現代的な

穿心地のよい





いくら御運動
遊ばしても
丈夫で持のよい

女 学 生 袴

- 弊店の袴は地質がよいので、綻びの少ないのは勿論、色が變りません。
- 仕立に十分念を入れてありますから、優美で上品で、女學生向には逃へ向です。



町△△市△△
店袴△△

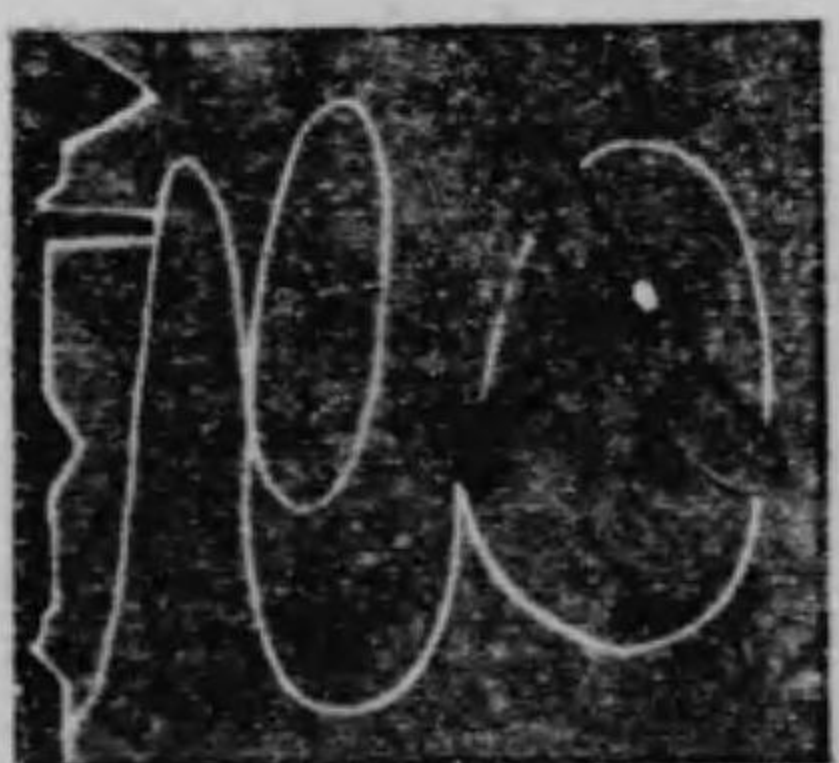
化粧品
賣藥類
藥種類

△△市△△町
△△藥店
電話。二二三番

△△藥店
△△此際
△△おくすり

はいつものやうにお安く差上げます。
安い時分に仕入れた薬品が澤山あるからでんいます。

の値段は益々あがる許りです！



あがる
あがる
飛行機のやうに

いかにいかに
 いかにいかに
 本當といかにいかに



△△屋の
 新鮮な
 果物を
 召上れ

□御進物用として優美な籠入にもいたします。
 五十銭位よりいろいろございます。

△△市△△町
 △△屋果物店



簡単でうまい洋食も出来ます。
 一寸した肴もございます。
 涼みがてら是非お越し下さい。

氣持のよい泡の音

得も云へぬ冷え加減

ビールは何と云っても

△△△ビールだ

△△町

△△△ビヤホール

電話一二三番



歩く具合が何とも云へぬ

軽快で氣の利いた

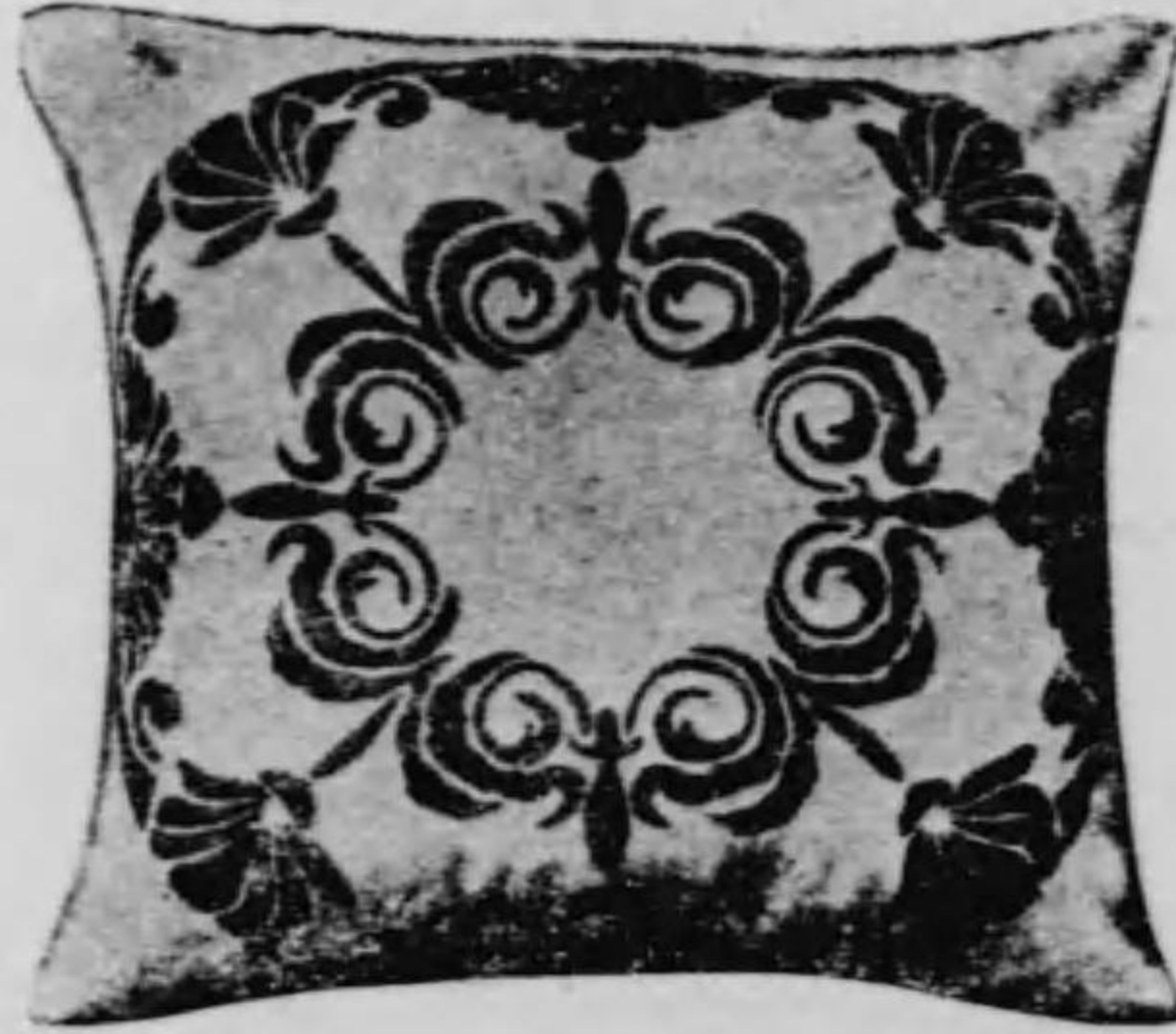
△印靴シール

□△印シールはゴムの質がようム
 いますから壽命が長うムいます
 □他のシールに比してお安うムい
 ます。御註文の節はゼヒ△印を。

△△市△△町

△△商店

電話一二三番



店内に澤山陳列して
 ございます、御覽に
 入らして下さいませ

紳士の御家庭に

なくてはならぬ

西洋蒲團

□日本の家庭に向く高尙で粋な模様のがいろ／＼御座
 います。

□鳥の羽を入れた其フワ／＼とした觸り具合は到底日
 本座蒲團の比で御座いません。

△△市△△町

△△商店

魔法瓶

特價提供



旅

行に、これ程便利なものは無い。どんなに熱くても、どんなに冷たくても、二十四時間は大丈夫保つと言ふ便利至極なものであります。

いろいろ陳列してあります、御一覽を。

△△市△△町
△△雑貨店

△△町へお出浮の節は
は最新流行品が
澤山あなたをお
待して居ります

△△雑貨店へゼ
ヒ御寄り下さい
小店の陳列場に

楽しい御家庭には

ポケット

ドロップス

父さんも母さんも、

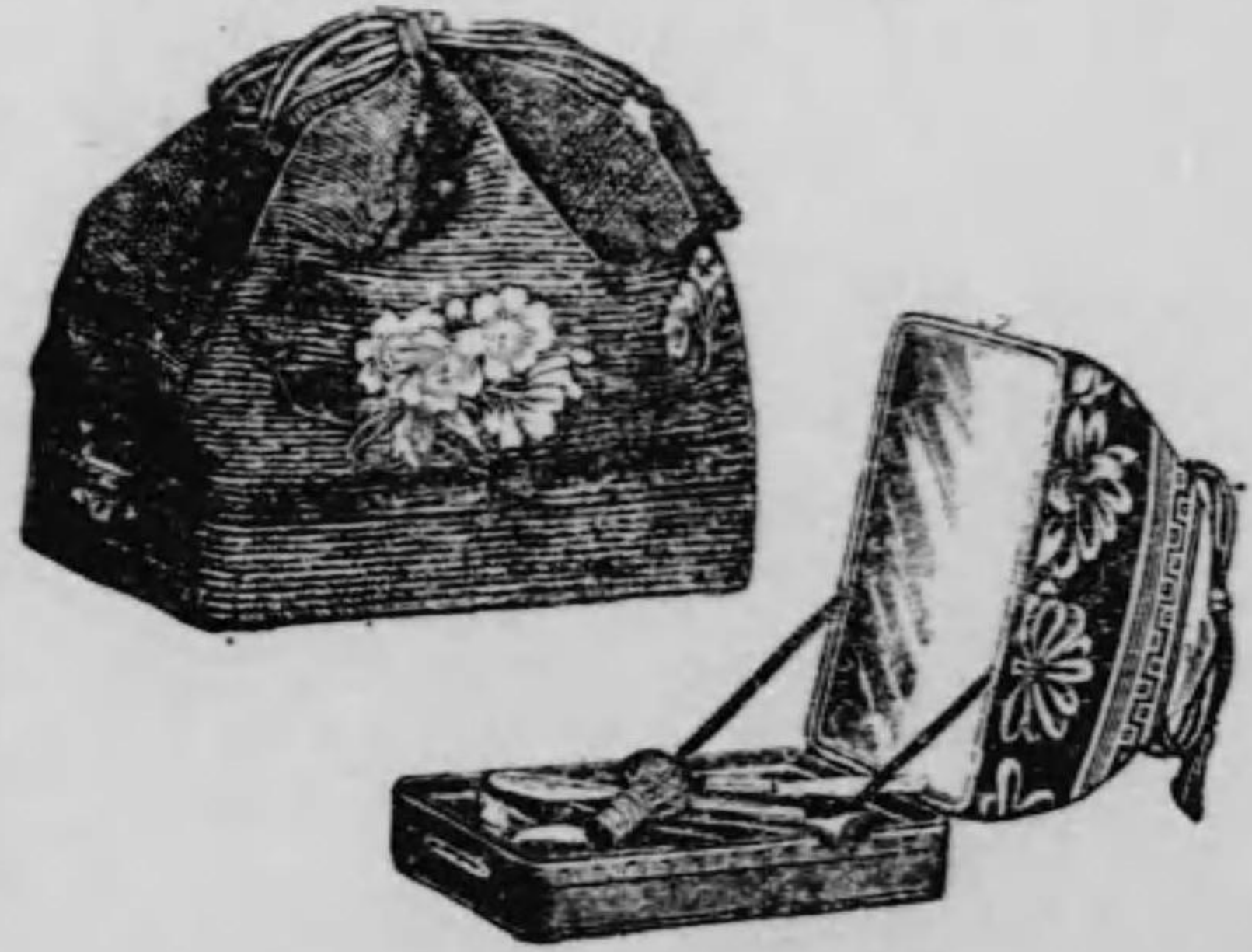
兄さんも姉さんも、みんな好きな

ポケットドロップス



△△市△△町

電話一三三番 堂



理想袋の美

「芳子さん、私本當にくたぶれたわ」

「さう、まあお茶を一つお上りと磯子は浪際に建てられた海光亭の一室に憩ふたのである。」

「まあ一つお上りと理想袋からお菓子を出してから、更にその袋の底の方にキチンと入つてある化粧道具を今更のやうに美しく見た。」



夏帽子が

弊店の店内に澤山諸君を待つて居ります、スグ入らして下さい。

冬帽子君

暫く休憩したまへと
軽快なスタイルで飛出した

町 △ △ 市 △ △
店子帽堂 △ △



今晚の夜會は
△△屋で仕立てた
上等の燕尾服を着た紳士ばかり
△△市△△町 △ △ 洋服店

流行の
意気なマントは



出来合を澤山用意して、ドナタにもスグ間に合ふやうにして、店に陳列してゐます。

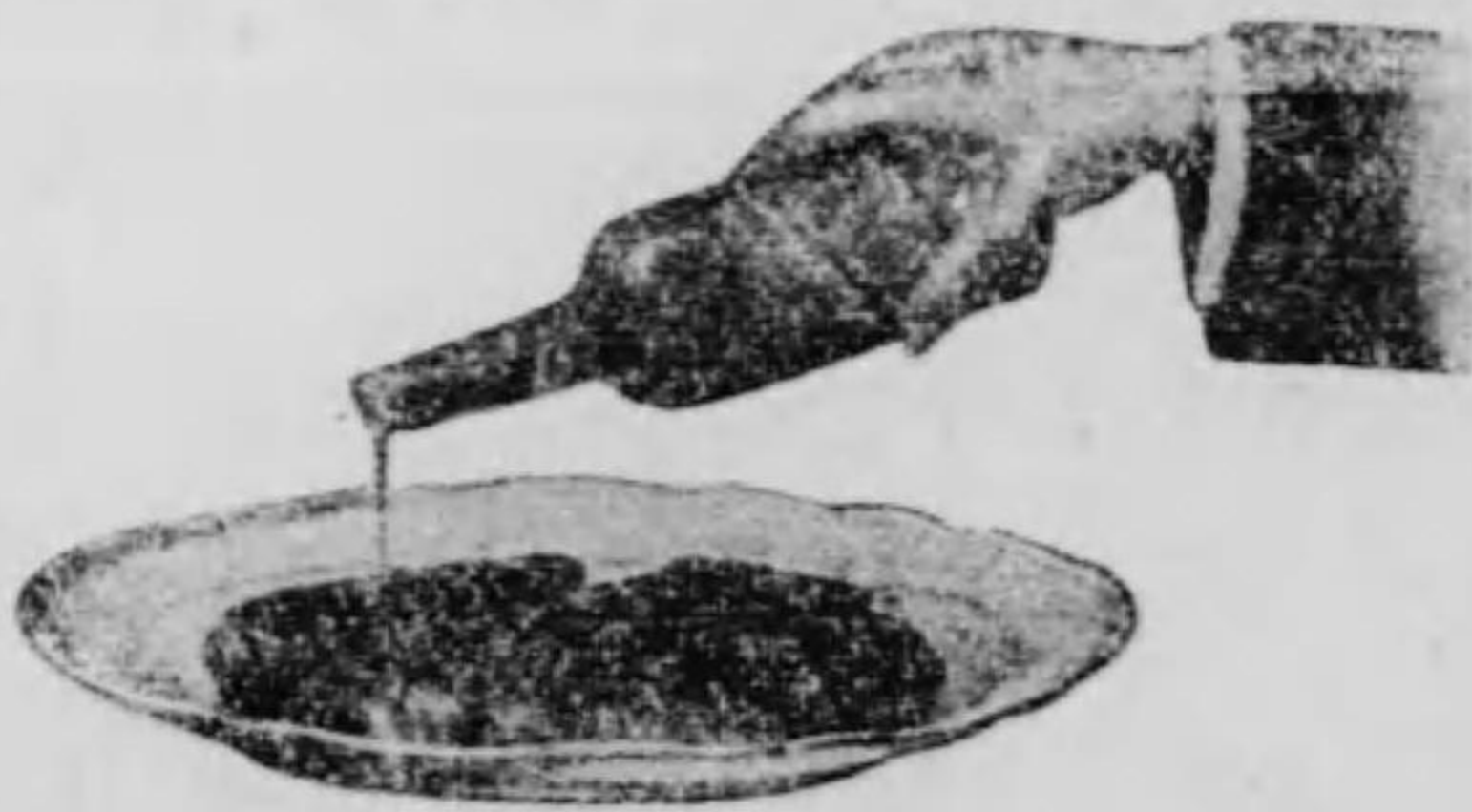
仕立が入念 出来合と云つても仕立が入念で、生地をタツブリ使つて居ますから誠にお爲に宜しうゐます。

恰好が流行 お子達に似合ふやうな意気な色柄を用ひ、今流行の型に仕立てゝゐます。

値段は大勉強

△△市△△町

△△洋服店



うまいものなら

△△堂

御家庭向

西洋食品は

何に限らず△△堂

□弊店へ御用命下さいませればおいしい御馳走が経済的に出来ます。
□電話をお掛け下さればスグ持参します。

△△市△△町

△△堂食料品店

爽快月夜の如き△△サイダー



六四



書齋に應接間に

から云ふ氣持よき椅子を

カタログム
います、御申
越下さい。

△△△市△△町△△番地

△△屋家具店

電話一二三番

仕事が丁寧で
材料が上等なのは
弊店製品の特色



六五



三月十五日より二十一日まで

春季流行品賣出し

| | | | | | |
|----|------|-----|-----|-----|-----|
| 三月 | 洋半片好 | 傘襟側 | 陳陳陳 | 陳陳陳 | 陳陳陳 |
| 月 | 中 | 陳 | 陳 | 陳 | 陳 |
| 中 | 形 | 陳 | 陳 | 陳 | 陳 |
| 人 | 形 | 陳 | 陳 | 陳 | 陳 |
| 形 | 陳 | 陳 | 陳 | 陳 | 陳 |
| 陳 | 陳 | 陳 | 陳 | 陳 | 陳 |
| 列 | 陳 | 陳 | 陳 | 陳 | 陳 |
| 會 | 會 | 會 | 會 | 會 | 會 |



十合吳服店

羽織を脱いで
春の衣裳を誇る

時季が参りました



三月一日より十日まで

春の衣裳陳列會

弊店の店内及階上にて開催
眼のさめるやうな美しい新柄が
澤山参つて居ります、ぜひ御越し遊ばせ

△市 △町
△吳服店

お嬢様も
お母様も

父さんも
青年
諸君も



ぜひぜひ

入らせて下さい

十月一日から十日まで開かれる

會 覽 展 禮 婚

- | | |
|----------|---------|
| △ △ 呉服店 | △ △ 家具店 |
| △ △ 小間物店 | △ △ 算笥店 |
| △ △ 半襟店 | △ △ 履物店 |
| △ △ 雜貨店 | △ △ 樂器店 |
| △ △ 饜節店 | 聯合主催 |

於 △ △ 陳列場開催

△ △ 市 △ △ 町
△ △ 堂シヤツ部

一着 壹圓五拾錢均一

□ 海水に浸つて自由に運動が出来且つ體裁が優美で入ります。

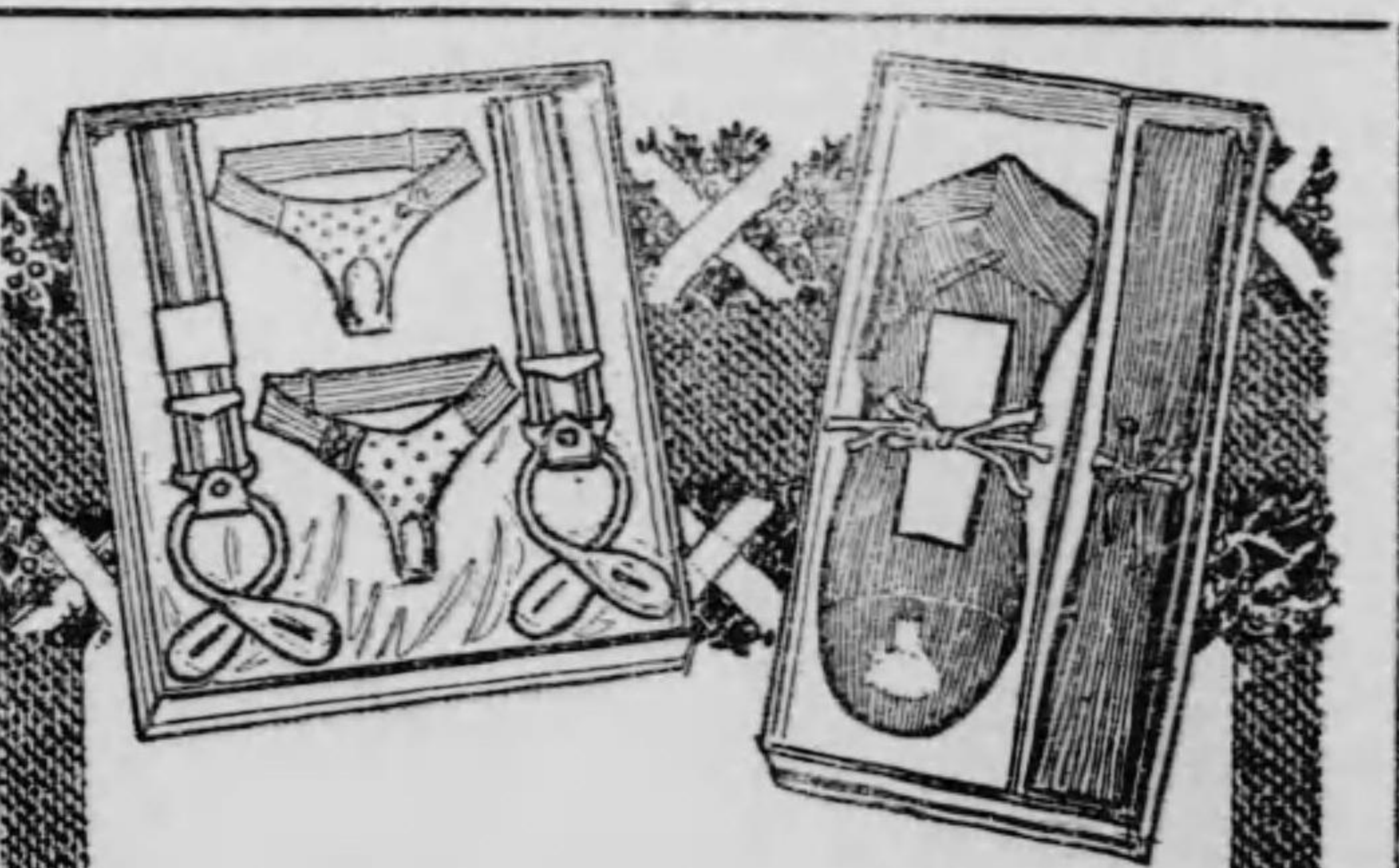
□ △ △ 堂の海水浴着は伸縮自在で肥つた方にも瘦せた方にも間に合ひます。

輕便な海水浴着を

海では △ △ 堂の



海 △ △



紳士方への

御進物には

△△堂のネクタイ、靴下、ズボン吊、靴下吊等に限ります。箱入で優美な進物用として好適のものがいろいろあります。

△△市 △△堂

花子さんや

春子さんの

可愛らしい

リボンは

△△屋のリボンでびびります。



青年紳士諸君の

歡樂郷

佛蘭西料理と

西洋の酒で有名な

カフェー・ランタン

△△市△△町△△番地
電話△△一三三番



来た！来た！

獵期が来た！

銃は？ 銃は△△町 △△銃砲店へ！

新柄流行の色合
澤山店内に陳列

奥様嬢様

ぜひ
入らして下さい

半

襟

は

△△町の

魚り清へ



⑩ 魚り



疑問は

解決され
たり!

どうしてアナによい品を
アナに安く賣るか?

と云ふ疑問は解決されました、豊富な資本で、
思ひ切つた仕入をして、安く多く賣らうと云ふ
主義が、こんなによい品を安く賣るやうにさせ
たのです。

歐米雜貨

△△市△△町

△△雜貨店

電話一二三番



紳士諸君
 春のお仕度は
 せと、せと
 △△町の
 △△堂く

小間物

は

△△町
 △△小間物店へ

□今流行のお頭いまりうかうの道具つむ、帯おび、お
 羽織はおり紐ひも、半襟はんえり、いろく取揃とりそろへ
 て皆様みなさまをお待ちまちして居をります。
 □私共わたくしどもは品質ひんしつ本位ほんゐで、いつ迄まで経たつ
 ても△△の品しなはよいと云いふお褒ほ
 めいたゞきたいので△こといます。





セルとネル大賣出し

□ 瀟洒した氣の利いた夏らしい新柄澤山到着いたしました。

□ 五百反限り特價にて差上げます。

□ 賣出しは四月十日より二十日迄。

△△市△△町

△△吳服店

電話一二三番



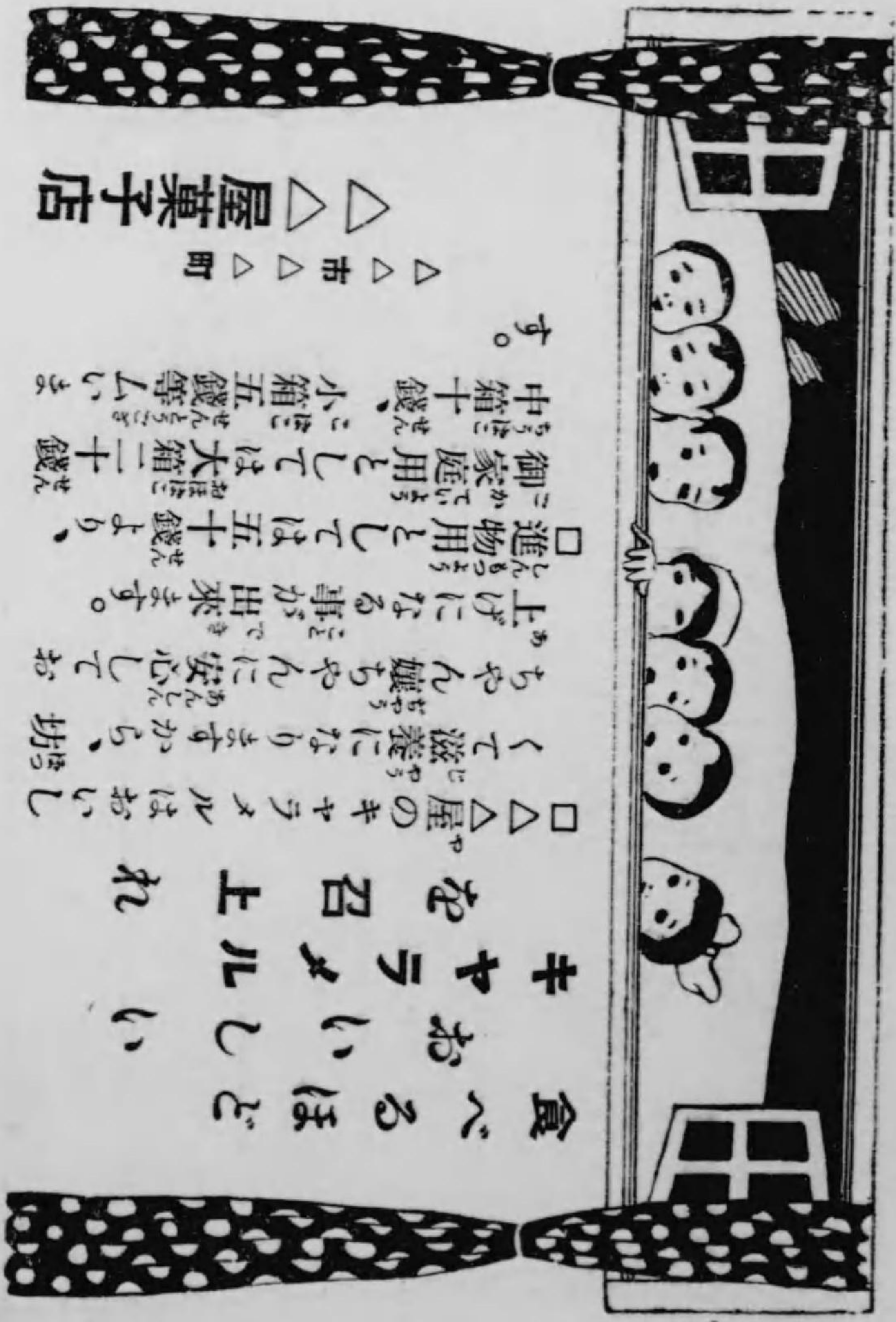
新進洋畫展覽會

入場無料

弊店階上にて二月一日より十日まで

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|----|----|------|-------|----|-------|--------|------|----|----------|----|-------|-----|------|------|--------|-----|----|-------|----|--------|
| 春の朝 | 夢の後にて | 小春 | 静物 | 磯邊の家 | 暮れ行く街 | 虫賣 | 新井橋にて | 湯を出たる女 | 淋しき顔 | 二才 | 上野にて見たる女 | 大磯 | 白帆と汽船 | 濱の女 | 小女の乳 | 大根河岸 | 光りの中にて | 森の畫 | 小鳥 | 富士の二月 | 春子 | 白百合と少女 |
|-----|-------|----|----|------|-------|----|-------|--------|------|----|----------|----|-------|-----|------|------|--------|-----|----|-------|----|--------|
- △ 茲に示したるは其主なるものに御座候 △ 總數百五十點 △ △ 畫伯 △ △ 畫伯 △ △ 畫伯の手になる者 澤山有之候 △ △ 市 △ △ 町 △ △ 吳服店



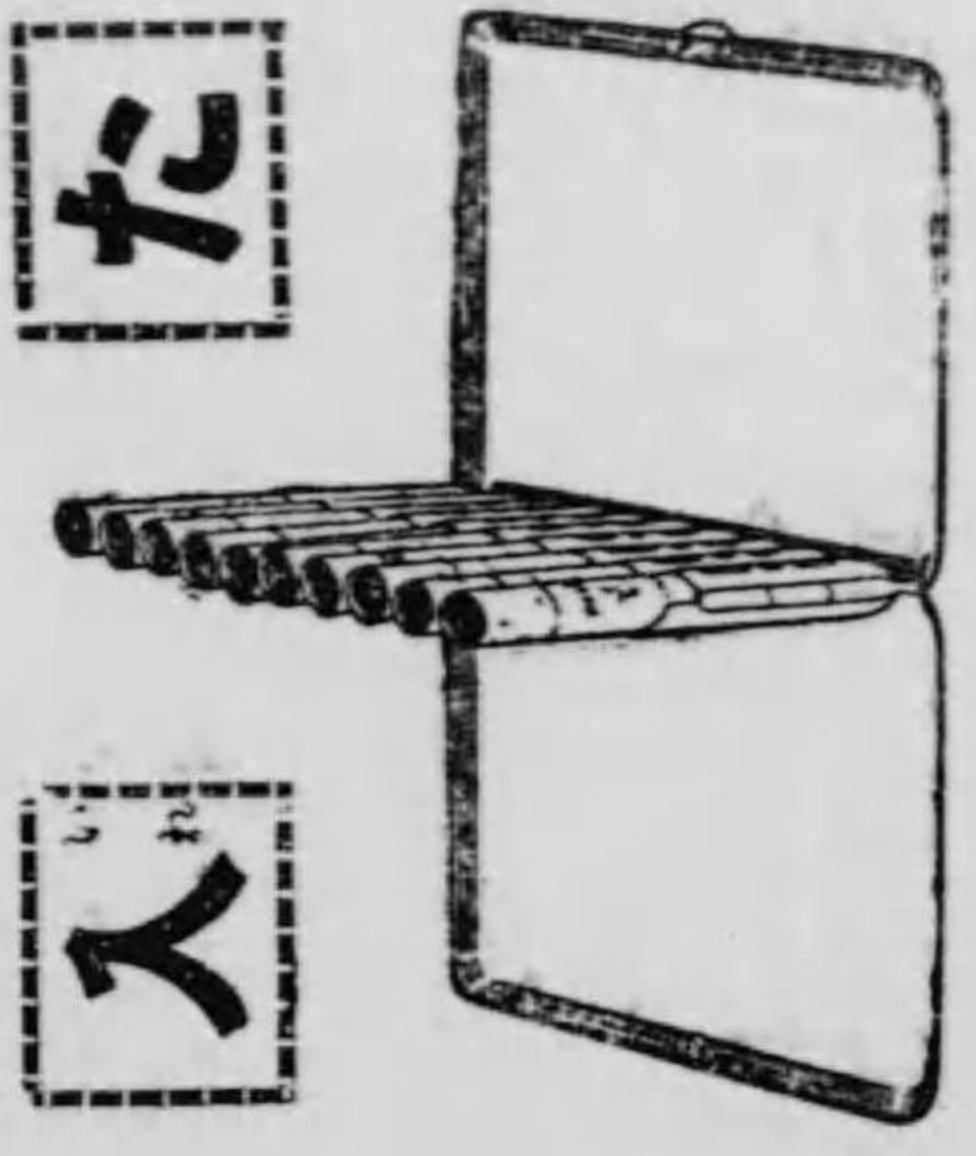


食べるほど
おいしいし
キヤラメル
を召上られ

□△△屋のキヤラメルはおいしくて滋養になりますから、坊ちゃん嬢ちゃんに安心してお上げになる事が出来ます。
□進物用としては五十銭より、御家庭用としては大箱二十銭中箱十銭、小箱五銭等あります。

△△市△△町
△△屋菓子店

た 利 の 氣
入 草 煙 卷



紳士方のせとお持ちになるべき
高尚優美なのが澤山あります。

- 銀製、銀に七寶入、イブシ銀製、赤銅製等金
屬製のものいろいろ。
- 其他安くて上品なもの種々あります。
- パイプもよいのがあります、ぜひ御来店を。

△△市△△町
△△ 雜 貨 店



本年流行の
浴衣展覧會

□眼も醒るやうな意氣な柄が澤山入ります。

□六月十五日より二十五日迄特賣品がム
います。

□よい柄が賣切れない内にセヒ入らして
下さいまし。

△△市△△町

△△吳服店

電話一二三番



△△町△△
△△俱樂部
の前………

大正バ

冷えた生ビール
素敵にうまい洋食
夏の歡樂郷は茲



いつでも南国に居るや
うにホカくと暖かい
駱駝のシャツ
紳士用特價提供

△△町
△△雜貨店



色

白くなる

薬

アンチソラチン

- 最新^{さいしん}露^{くわくじやう}化學^{はくわい}上の^か發明^{はつめい}に係^かる^は白美^{はくび}の^{げんざ}元料^{げんざう}はアンチソラチンであります。
- 生地^{きぢ}から^ぬ抜ける^{はきぬ}程^{ほど}美しく^{うつく}なる^{なる}薬^{くすり}で^いまし^まて^て安心^{あんしん}して^{もち}用^{もち}ゐ^られ^ます。
- 詳細^{しやうさい}の^{せつめい}説明書^{せつめいしよ}御^{おん}入^い用^{りよう}の方^{かた}は^{おんまを}ハガキ^{はがき}にて^{おんまを}御^{おん}申^{まを}込^こ下^{くだ}さい、^ま直^{ちか}に^ま差^さ上^あげ^ます。

△△市△△町

△△薬房

電話一二三番

カタログ
チラシ
レツテル
營業案内
等



商賣を繁昌せしめるものは
上手な廣告の諸印刷物

- 最新式の機械を使用して居りますから仕事
が綺麗で、早くて値が安く上ります。
- 技術に熟練した職工を使つて居ますから、
體裁は何處迄も優美でいます。
- 石版、活版、オフセット何でも出来ます、
御用の節は一寸お電話を。

△△市△△町
△△印刷所
電話一二三番

△屋へ

△屋へ

△屋の流行帶地陳列會へ



△△市△△町

△屋吳服店

電話一二三番

- 帶地陳列會は三月一日
より三月十日まで開催
- どれもこれも今流行の
新柄ばかり
- 格安もの澤山あります
是非御越し下さい